

# C o n t e n t s

## 目 次

### ■ 挨拶・祝辞

挨拶／尼崎市民共済生活協同組合 理事長 赤川 孝平	1
祝辞／兵庫県知事 斎藤 元彦 様	2
尼崎市長 松本 真 様	3
全国共済生活協同組合連合会 理事長 林 浩一 様	4
兵庫県生活協同組合連合会 会長理事 岩山 利久 様	5

### ■ 歴代役員一覧・組織図

歴代理事長	8
歴代役員一覧	9
組織図	18

### ■ 沿革

設立経緯	20
70年のあゆみ	26
時代と歩んだ広告物	43

### ■ 創立70周年事業

創立70周年記念式典	52
共済募集人からのメッセージ	56
取次所(現 共済募集人)の研修旅行	58
共済募集人の研修	60
組合に寄せられたお客様の声	62

### ■ 資料

グラフで見る70年	66
組合事業変遷一覧表	70
編集後記	72

# 創立70周年記念誌

70<sup>th</sup>  
Anniversary

尼崎市民共済生活協同組合



## 挨拶

# 尼崎市民共済創生活協同組合 創立70周年を迎えて

尼崎市民共済生活協同組合 理事長

赤川 孝平



尼崎市民共済生活協同組合は、昭和30年に創立され、本年(令和7年)を持って創立70周年の節目の年を迎えることができました。

これもひとえに組合員の皆様をはじめ、関係各位の温かいご支援の賜物と心から深く感謝申し上げます。

当組合は戦後の苦難な社会情勢が続く中、市民生活の安定向上を図ることを目的に、組合員による相互扶助の助け合いの精神のもとに発足いたしました。

創立に当っては“生協の父”と言われた賀川豊彦氏が大きく関わり、創立後も2年間、当組合の顧問を務め、共済事業の基盤づくりにご尽力くださいました。

また、組合員の募集においては、社会福祉協議会や婦人会、民生委員そして消防団や市民保険組合をはじめ各労働組合の皆様が、市と共に「募集の主体」となって精力的に募集活動を行ないました。

当時、地域福祉団体や労働組合の皆様が募集に関わるのは全国で初めてのことであり、厚生省をはじめ関係機関から大きな注目を集めたようです。

翌年には、これもまた全国で初の試みとして付加給付金(死亡給付金)の規定を設けて直ちに実施しています。

当組合創立時(昭和30年代初頭)は、ちょうど戦後の混乱期から高度経済成長期へ移ろうとしている時期で、尼崎市は工業生産の拡大などにより急激に人口が増加し、深刻な住宅不足に陥っていました。そんな中、当組合が共済事業の一環として住宅建設を行なっております。

全国に類例を見ない中、昭和37年からの3カ年で「鉄筋5階建住宅」5棟を建設し、市だけでは追いつかない住宅事業を側面から支えました。

今、こうして歴史を振り返りますと、当組合は創立当初から全国に大きな影響を与えてきましたことが伺えます。

創立後は、日本経済の高度成長とあいまって組合員の数も増加し、多い時には10万人を超える組合員の方々に支えられてきました。

しかしながら、70年という時代の流れの中で、平成3年のバブル崩壊を境に数年後には減少に転じると共に競合他社の台頭などにより、今では組合員の数も3万人を割っています。

この度の70年という節目を機に、協同組合の理念である「相互扶助」の精神を再確認すると共に、一人でも多くの皆様に当組合をご利用いただけるよう、これからも地域に密着した共済生協「身近な市民共済」「信頼される市民共済」を目指し、職員一同、精一杯頑張っていきたいと思います。

どうぞ皆様、これからも尼崎市民共済生活協同組合に対するご支援、ご協力をよろしくお願ひいたしますそして、ご挨拶とさせていただきます。

## 祝 辞

# 尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年を祝して

兵庫県知事

齋藤 元彦



尼崎市民共済生活協同組合の創立70周年を心よりお喜び申し上げます。

組合員の助け合いによって生活の安定を保障することを目的に、昭和30(1955)年に設立されて以来、火災共済・交通等傷害共済・総合医療共済・定期生命共済など様々な共済事業を展開し、共助・協同の輪を広げ、組合員の皆様に安心・安全を届けてこられました。赤川孝平理事長をはじめ、これまでご尽力してこられた関係の皆様に、深く敬意を表します。

今年は、阪神・淡路大震災から30年という節目の年に当たります。近年、自然災害が頻発するなど災害リスクが高まる一方で、災害の記憶の風化が懸念されている今、震災から得た経験と教訓を次世代に繋ぎ、次なる災害への備えに活かしていくかなければいけません。

災害への備えは、自らの命や安全を守る「自助」、自治体や消防など公的機関が行う救助・支援の「公助」、近隣住民や周囲の人々が協力して助け合う「共助」に区分されますが、阪神・淡路大震災では、地域コミュニティやボランティアなどの「共助」の力が大きな役割を果たしました。

核家族化やコロナ禍などにより人間関係が希薄になったといわれるなか、改めて人と人との絆、ともに生きることの価値を震災から得た経験や教訓として後世へ繋いでいかなければなりません。

貴組合の皆様は、個人の力では防ぎきれない災害を、共助の精神のもと乗り越えるなど、組合員相互の生活文化の向上を図る活動を展開しておられます。皆様の活動を心強く感じるとともに、引き続き、相互扶助の精神を広げられますことを期待しています。兵庫県としましても、震災30年事業の取組などを通じて、誰もが安全に、安心して暮らすことができる社会の実現に全力で取り組んでまいります。

また、貴組合では、「顔の見える関係づくり」を大切にされ、出張説明・相談会の実施や対面による集金といった地域に根差した活動を継続的に行われています。

県内の消費者トラブルに関する相談が4万件を超えて高止まりし、その半数が60歳代以上の高齢者であるなか、貴組合が日頃から気軽に相談できる関係づくりを進めていただいていることに改めて感謝いたします。

県としても、県内7地域の消費生活センター等ごとに設置している市町、警察、社会福祉協議会などと連携した見守りネットワークを通じて、高齢者の安全安心な消費生活の確保に努めてまいります。

今後とも、誰もが安心・安全に暮らすことができる社会の実現に向け、力を尽くしてまいりますので、一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

最後に、尼崎市民共済生活協同組合のますますのご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念し、お祝いの言葉といたします。

## 祝　辞

# 尼崎市民共済 創立70周年記念誌へのごあいさつ

尼崎市長

松本 真



尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴組合が70年という長きにわたり、組合員の助け合いによって生活の安定を保障することを目的に、共済事業を通じて市民の暮らしを支えていただいておりますことに深く敬意を表します。

貴組合が設立された当時、市内には木造長屋や住宅密集地が多く、ひとたび火災が発生すると延焼もあり、大きな被害が出ていました。

そのため本市では、火災から市民の生命、身体及び財産を守るべく、木造老朽住宅の解消や住環境改善、防災マップの作成支援など、火災の未然防止と火災発生時の安全性確保に取り組んでまいりました。一方、貴組合では、昭和31年に火災共済事業を開始し、火災に遭った方への支援、救済を行ってこられました。

また、本市の人身事故発生件数がピークを迎えた昭和40年代には、貴組合において交通等傷害共済事業を開始され、交通事故被害を受けた方への支援、救済を行ってこられましたが、本市では、市内の交通事故発生状況から、人身事故に占める自転車関連事故の割合が全国的にも高い水準であるため、関係機関や諸団体との協力のもと、安全で快適な自転車利用環境の整備や自転車教室の実施等による交通安全思想の普及徹底などにより、交通事故を減らす取組を進めてまいりました。

このように、貴組合におかれましては、市とともに、市民の安心安全を守る大切な役割を担っていただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

近年保険業界においては、民間保険会社をはじめとする様々な選択肢が増えていますが、貴組合の共済事業は他の民間商品に比べて掛金が安価であり、今後ますます高齢単身世帯の増加が見込まれる中、貴組合が果たされる役割はさらに重要になると考えています。

貴組合におかれましては、引き続き市民のセーフティネット制度の一つとして、市民の安心安全のためにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

尼崎市は、令和8年に市制110周年を迎えます。

過去から現在へ、変化を続けてきたまちをさらに未来へつないでいくため、「あまがさき つなぐつながる うごきだす」というテーマのもと、市民・事業者の皆様とともにこのまちの魅力をさらに高めていくため、引き続き全力で取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、今後とも本市の市政運営に温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴組合が70周年の節目を契機に、さらなるご発展を遂げられますことを心から祈念いたします。

## 祝 辞

# 尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年を祝して

全国共済生活協同組合連合会 理事長

林 浩一



尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を迎えたこと、誠におめでとうございます。全国共済生活協同組合連合会を代表いたしまして、心よりお祝い申しあげます。

貴組合におかれましては、昭和30年12月の創立以来、相互扶助の精神に基づき、組合員の生活の安定と文化の向上を図ることを目的に、地域に密着した共済生協として、火災共済をはじめとする各種事業を積極的に展開してこられました。

高度経済成長期には、尼崎が阪神工業地帯の中核都市として大きく発展する中、災害や事故から市民生活を守る取り組みを着実に進められ、市民にとって頼れる存在として大きな役割を果たしてこられました。その歩みは、卓越した見識とたゆまぬご努力に支えられたものであり、確かな発展の歴史として刻まれております。

これもひとえに、創立以来70年の永きにわたり、その運営に携わってこられた歴代理事長をはじめ、多くの関係者の皆様、そして組合員の皆様のご尽力の賜物であり、ここに改めて深く敬意と感謝を申しあげます。

また、私ども全国共済生活協同組合連合会の運営に際しましても、貴組合の皆様方には、日頃より格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年、尼崎市が舞台の「あまろっく」と題する映画が公開されました。

尼崎では、「尼ロック」と呼ばれる「尼崎閘門」こうもんが治水・高潮対策という重要な役割を担ってきましたが、映画でも、年齢や価値観も異なる家族が、苦難に立ち向かうことで、次第にひとつになっていく姿を描くなかで、「尼ロック」が家族を守る象徴に例えられ、その役割が父から、やがて娘へと引き継がれていくという物語です。

「尼ロック」の竣工も昭和30年のことですから、「尼ロック」がこれまで、閘門式防潮堤として、高潮や洪水等の浸水被害から尼崎のまちを守ってきたのと足並みを揃えるように、貴組合は、市民の生活・財産を守る共済制度の普及を通して、暮らしに安心と安全を提供するという使命と役割を担ってこられました。

今日、少子高齢化と人口減少が進む中、年金など社会保障制度の持続性に対する不安、世界経済の不安定化に伴う物価高騰、さらには地球温暖化の影響や気候変動に起因する自然災害の激甚化・頻発化、大規模地震への備えなど、私たちを取り巻く社会環境はますます厳しさを増しております。

こうした時代にあって、市民が安心して暮らすためには、生活の安定が何よりも大切であります。その基盤を支え、組合員に寄り添いながら安心を提供し続ける貴組合の取り組みは、誠に心強い限りであります。今後も地域にとっては大きな支えとなるものと確信しております。

全国共済生活協同組合連合会をいたしましても、協同互助の精神を共にしつつ、これまで以上に連携を深め、共済という助け合いの輪を広げてまいりたいと考えておりますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願ひいたします。

結びに、尼崎市民共済生活協同組合が創立70周年を新たな飛躍の契機とされ、これからも「組合員とともに、地域とともに」歩みを進められますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 祝 辞

# 創立70周年記念誌への ごあいさつ

兵庫県生活協同組合連合会 会長理事

岩山 利久



尼崎市民共済生活協同組合の創立70周年にあたり、兵庫県生活協同組合連合会の仲間とともに心よりお祝い申し上げます。70年という長きにわたり、地域に根差した共済事業を展開し、多くの組合員のくらしの安心を支え、地域に貢献し続けてこられた皆様のご苦労とご努力に、心より敬意を表します。

70年前、1955年(昭和30年)の日本は、敗戦からの復興を経て高度経済成長期へと移行する過渡期にありました。この時期、公的年金制度は発展途上にあり、民間保険の普及もまだ十分ではありませんでした。国民の生活は不安定な部分も多く、病気、災害、失業といった事態への備えが必要であったと考えられます。生活防衛と地域コミュニティにおける相互扶助の意識が高まる中で、共済は地域でくらす人々の生活を支える重要な役割を担っていたといえます。

そのような時代の中、貴組合が誕生しました。設立に大きく関わった人物に、生協の父である賀川豊彦の存在があり設立から2年間、貴組合の顧問に就任され共済事業の基盤づくりに尽力されました。貴組合は賀川豊彦の指導のもと、市民一人ひとりの「もしも」に備え、お互いに助け合うという共済の精神を大切にしながら、手頃な掛金で充実した保障を提供されてきました。

創立翌年の「火災共済事業」に始まり、1967年に「交通等傷害共済事業」、1999年に「受託共済事業(コープ共済)」、2011年に「火災共済付帯保険」を取り扱い、2020年に「保険代理事業」、そして2021年に「保険代理事業」に「交通事故傷害保険」を追加されるなど、常に組合員のニーズに応えながら多くの取り組みを積み重ねてこられました。

その地道な活動の積み重ねにより、今日の確固たる信頼を築き上げられ、今年70周年を迎えられます。これもひとえに、創設に尽力された先人の方々、そして今日まで事業を支えてこられた役職員の皆様、そして何より、共済事業にご理解ご協力いただいた組合員の皆様のお力添えの賜物であり、重ねて敬意を表します。

この度、貴組合のこれまでの軌跡が記念誌としてまとめられることは非常に意義深く、全国の生協の歴史の貴重な記録として受け継がれ、今後の生協運動のさらなる前進につながるものと思います。

私事ではありますが、亡くなった両親は住み慣れたまちで安心して暮らすうえで、尼崎市民共済生活協同組合の皆さんに大変お世話になりました。この紙面を借りてお礼申し上げます。

私たち生協の役割は、「安心してくらし続けられる地域社会づくりに貢献する」ということです。組合員も「住み慣れたまちで安心してくらし続けたい」という願いを持っています。兵庫県生活協同組合連合会も平和で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを、尼崎市民共済生活協同組合の皆さん、兵庫県生活協同組合連合会の仲間とともにすすめたいと考えています。

70周年を迎える、これからも時代の変化に対応しながら、地域に密着した共済生協として、また地域社会に貢献し続けられる存在として、さらなるご発展を遂げられることを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

---

歴代役員一覧  
組織図

---

70<sup>th</sup>  
Anniversary



# 歴代理事長



初代  
**薄井 一哉**

(尼崎市長)  
昭和29年（1954）12月12日  
昭和41年（1966）12月11日



第2代  
**篠田 隆義**

(尼崎市長)  
昭和41年（1966）12月20日  
昭和54年（1979）5月28日



第3代  
**野草 平十郎**

(尼崎市長)  
昭和54年（1979）5月28日  
平成3年（1991）1月23日



第4代  
**六島 誠之助**

(尼崎市長)  
平成3年（1991）1月23日  
平成6年（1994）12月11日



第5代  
**宮田 良雄**

(尼崎市長)  
平成7年（1995）2月16日  
平成14年（2002）12月11日



第6代  
**白井 文**

(尼崎市長)  
平成15年（2003）1月22日  
平成22年（2010）12月11日



第7代  
**稻村 和美**

(尼崎市長)  
平成23年（2011）2月2日  
平成28年（2016）6月6日



第8代  
**本田 良生**

(元尼崎市消防局長)  
平成28年（2016）6月6日  
令和2年（2020）6月5日



第9代  
**河本 博志**

(元尼崎市消防局長)  
令和2年（2020）6月5日  
令和6年（2024）6月10日



第10代  
**赤川 孝平**

(元尼崎市消防局長)  
令和6年（2024）6月10日

# 歴代役員一覧

尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年記念誌  
歴代役員一覧・組織図

1955～1962

	1955	1956	1957	1958	1959	1960	1961	1962
通常総代会	昭和30年度	昭和31年度	昭和32年度	昭和33年度	昭和34年度	昭和35年度	昭和36年度	昭和37年度
	創立総会	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
理事長	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)
専務理事								浅野 清 (助役)
常務理事	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	大石 忠一 (市議会議員) 佐藤 俊夫 (市議会議員) 中西 勘次 (※1) 篠田 隆義 (助役)	佐藤 俊夫 (市議会議員) 篠田 隆義 (助役)	佐藤 俊夫 (市議会議員)
理事	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 日下 梅吉 (尼崎市消防協会長) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 吉村 望 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 日下 梅吉 (尼崎市消防協会長) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	河本 秀夫 (市議会議員) 安田 栄太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 秋田 茂綱 (西日本鍛工労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	梶本 正 (市議会議員) 小西 学 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (連合婦人会) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	梶本 正 (市議会議員) 小西 学 (市議会議員) 松永 義雄 (市議会議員) 滝下 幸男 (東洋精機労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (連合婦人会) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	椿本 鉄藏 (市議会議員) 中辻 亀市 (市議会議員) 石井 助一 (市議会議員) 松永 義雄 (東洋精機労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (連合婦人会) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	大石 忠一 (市議会議員) 西田 弘 (市議会議員) 溝口 信次 (市議会議員) 松永 義雄 (國保関係組合) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (連合婦人会) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)	柳川 茂十郎 (國保関係組合) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 上島 信雄 (連合婦人会) 林 はる (連合婦人会) 野草 平十郎 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長)
監事	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 白髪 信次郎 (市監査委員) 谷垣 一 (商店連盟会長)	篠原 健藏 (住友鋼管労組) 菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長)
顧問	賀川 豊彦 (尼崎市顧問) 白石 市郎 (尼崎市議會議長)	賀川 豊彦 (尼崎市顧問) 白石 市郎 (尼崎市議會議長)					大石 忠一 (市議会議員)	
事務局長	玉井 栄次郎	南波 九一	南波 九一	上田 謙之助	上田 謙之助	上田 謙之助	丸谷 実	

(※1) 尼崎市民保険組合連合会長

(※2) 関西電力労働組合尼崎第一発電所支部

# 歴代役員一覧

1963～1970

	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970
通常総代会	昭和38年度	昭和39年度	昭和40年度	昭和41年度	昭和42年度	昭和43年度	昭和44年度	昭和45年度
	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
理事長	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	薄井 一哉 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)
専務理事	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	浅野 清 (助役)	野草 平十郎 (助役)
常務理事	佐藤 俊夫 (市議会議員)	大石 忠一 (市議会議員) 松永 義雄 (社会福祉協会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組)	大石 忠一 (市議会議員) 松永 義雄 (社会福祉協会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組)	羽田 伊太郎 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 松永 義雄 (園田取次所協議会) 大石 忠一 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 野草 平十郎 (助役)	松本 梅治 (市議会議員) 大石 忠一 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 中塚 薫 (収入役)
理事	大石 忠一 (市議会議員) 寺本 直次郎 (市議会議員) 米田 右一 (市議会議員) 松永 義雄 (国保関係組合) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 橋本 広野 (関西電力労組) 篠原 健藏 (住友鋼管労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 上島 信雄 (※2) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長)	西村 亀 (市議会議員) 山手 正則 (市議会議員) 松田 安輝 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 橋本 広野 (関西電力労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長)	椿本 鉄藏 (市議会議員) 米田 右一 (市議会議員) 早山 豊 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 柳川 茂十郎 (国保関係組合) 橋本 広野 (関西電力労組) 川内 潔 (尼崎市職員労組) 林 はる (連合婦人会) 服部 武男 (民生福祉局長) 中田 差輔 (消防局長) 北川 皓 (組合事務局長)	米田 右一 (市議会議員) 原田 鷹一 (市議会議員) 原田 永信 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 柳本 広野 (本庁取次所協議会) 柳本 広野 (本庄取次所協議会) 柳本 広野 (立花取次所協議会) 柳本 広野 (立花取次所協議会) 柳本 広野 (立花取次所協議会) 柳本 広野 (尼崎市職員労組) 柳本 広野 (尼崎市職員労組)	根塚 繁夫 (市議会議員) 松本 梅治 (市議会議員) 牧野 隆二 (市議会議員) 田中 芳雄 (市議会議員) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 柳川 茂十郎 (大庄取次所協議会) 柳川 茂十郎 (立花取次所協議会) 柳川 茂十郎 (立花取次所協議会)	阪本 義一 (市議会議員) 原田 永信 (市議会議員) 阪本 義一 (市議会議員) 牧野 隆二 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庄取次所協議会) 入江 藤次郎 (本庄取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会)	大久保 鹿児 (市議会議員) 阪本 義一 (市議会議員) 川内 潔 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庄取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会)	栗田 利正 (市議会議員) 平坂 一博 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庄取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 源太 良太郎 (関西電力労組) 源太 良太郎 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 樟谷 菊夫 (大同鋼板労組) 樟谷 菊夫 (大同鋼板労組) 樟谷 菊夫 (大同鋼板労組) 林 はる (連合婦人会) 村田 亘 (民生福祉局長) 村田 亘 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長) 立石 芳松 (組合事務局長)
監事	菅本 高志 (市監査委員) 大塚 俊実 (消防協会) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)	菅本 高志 (市監査委員) 池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長)
顧問		佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	北川 皓	北川 皓	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松	立石 芳松

(※2) 関西電力労働組合尼崎第一発電所支部

## 1971～1978

通常総代会	1971	1972	1973	1974	1975	1976	1977	1978
	昭和46年度	昭和47年度	昭和48年度	昭和49年度	昭和50年度	昭和51年度	昭和52年度	昭和53年度
	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回
理事長	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)	篠田 隆義 (市長)
専務理事	植村 英一 (助役)	植村 英一 (助役)	植村 英一 (助役)	野草 平十郎 (助役)	野草 平十郎 (助役)	野草 平十郎 (助役)	藤原 博 (助役)	早崎 慶人 (助役)
常務理事	松本 梅治 (市議会議員) 松本 松太郎 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友金属尼崎労組) 中塚 薫 (収入役)	松本 松太郎 (市議会議員) 石本 晟 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友金属尼崎労組) 中塚 薫 (収入役)	明田 謙二 (市議会議員) 石本 晟 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 篠原 健藏 (住友金属尼崎労組) 中塚 薫 (収入役)	明田 謙二 (市議会議員) 西中 進 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中塚 薫 (市民生活局長)	松田 和行 (市議会議員) 牧野 隆二 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中村 好成 (市民生活局長)	明田 謙二 (市議会議員) 松田 和行 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 井上 和彦 (市民生活局長)	三木 宏 (市議会議員) 井上 博 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 安東 喜作 (市民生活局長)	潮田 政義 (市議会議員) 原田 鷹市 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 杉本 巍 (市民経済局長)
理事	掛井 正彦 (市議会議員) 潮田 政義 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 桂 周次 (立花取次所協議会) 徳垣 為夫 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 源太 良太郎 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 樽谷 菊夫 (大同鋼板労組) 林 はる (連合婦人会) 西垣 寿夫 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 立石 芳松 (組合事務局長)	奥田 満太郎 (市議会議員) 馬場 武夫 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 谷川 俊一 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 樽谷 菊夫 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 西垣 寿夫 (民生福祉局長) 小寺 貞二郎 (消防局長) 牧野 守七郎 (組合事務局長)	中辻 亀市 (市議会議員) 島田 幸治 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 古川 アサ子 (園田取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 西垣 寿夫 (民生福祉局長) 西山 敏昌 (消防局長) 牧野 守七郎 (組合事務局長)	川内 潔 (市議会議員) 波多 正響 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 石原 武彦 (民生福祉局長) 西山 敏昌 (消防局長) 牧野 守七郎 (組合事務局長)	中川 日出和 (市議会議員) 古屋 隆敏 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 早崎 慶人 (民生福祉局長) 稻田 武雄 (消防局長) 山上 三二 (組合事務局長)	宮崎 伍郎 (市議会議員) 島田 幸治 (市議会議員) 入江 藤次郎 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 梶 邦 (民生福祉局長) 稻田 武雄 (消防局長) 山上 三二 (組合事務局長)	松田 和行 (市議会議員) 中村 四郎 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 梶 邦 (民生福祉局長) 稻田 武雄 (消防局長) 山上 三二 (組合事務局長)	波多 正響 (市議会議員) 奥野 勝雄 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 梶 邦 (民生福祉局長) 稻田 武雄 (消防局長) 山上 三二 (組合事務局長)
監事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 日高 重義 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 日高 重義 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 日高 重義 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 日高 重義 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)
顧問	佐藤 俊夫 大石 忠一	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	牧野 守七郎	牧野 守七郎	牧野 守七郎	牧野 守七郎	山上 三二	山上 三二	山上 三二	喜多 豪

# 歴代役員一覧

1979～1986

	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986
通常総代会	昭和54年度	昭和55年度	昭和56年度	昭和57年度	昭和58年度	昭和59年度	昭和60年度	昭和61年度
	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回
理事長	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)
専務理事	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	早崎 憲人 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)
常務理事	小西 ヨシ子 (市議会議員) 垣内 愛三 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 杉本 巍 (市民経済局長)	日下 章 (市議会議員) 掛井 正彦 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	安田 勝 (市議会議員) 宇栄原 政幸 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	奥野 勝雄 (市議会議員) 白石 市郎 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 藤田 和男 (住友金属尼崎労組) 中嶋 千萬城 (市民経済局長)	松田 和行 (市議会議員) 滝下 幸男 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組)	多田 敏治 (市議会議員) 西中 進 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組)	松田 和行 (市議会議員) 林 忠雄 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組)	松田 和行 (市議会議員) 滝下 幸男 (市議会議員) 伊達 德次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組)
	岩下 維亮 (市民局長)	吉川 昇 (事務局常勤)	岩下 維亮 (市民局長)	岩下 維亮 (市民局長)	岩下 維亮 (市民局長)	辰巳 浩 (市民局長)	吉川 昇 (事務局常勤)	辰巳 浩 (市民局長)
	波多 正響 (市議会議員) 長浜 勝彦 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 徳垣 為夫 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 越智 一雄 (関西電力労組) 藤原 軍次 (関西電力労組) 堂脇 三郎 (尼崎市職員労組) 前田 孝雄 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 幾田 次夫 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 喜多 豪 (組合事務局長)	白石 市郎 (市議会議員) 西中 進 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 皆吉 通雄 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 幾田 次夫 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 喜多 豪 (組合事務局長)	三木 宏 (市議会議員) 京見 一男 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 皆吉 通雄 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 幾田 次夫 (民生福祉局長) 井上 和彦 (消防局長) 石丸 幸男 (組合事務局長)	宇栄原 政幸 (市議会議員) 神川 和久 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 皆吉 通雄 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 室井 一子 (連合婦人会) 吉川 昇 (民生福祉局長) 吉川 昇 (消防局長) 石丸 幸男 (組合事務局長)	古屋 隆敏 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 大森 稔 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 藤原 軍次 (関西電力労組) 福間 達夫 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 山路 鉄男 (連合婦人会) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 吉川 昇 (民生福祉局長) 吉川 昇 (消防局長) 塙本 昭武 (組合事務局長)	松田 和行 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 浦上 潔一 (大庄取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 山路 鉄男 (連合婦人会) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 藤田 浩明 (消防局長) 塙本 昭武 (組合事務局長)	湯口 昭夫 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 浦上 潔一 (大庄取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 山路 鉄男 (連合婦人会) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 藤田 浩明 (消防局長) 塙本 昭武 (組合事務局長)	能村 正一 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 大下 貫一 (本庄取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅田 秀信 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 浦上 潔一 (大庄取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 山路 鉄男 (連合婦人会) 林田 ひさゑ (連合婦人会) 藤田 浩明 (民生福祉局長) 藤田 浩明 (消防局長) 塙本 昭武 (組合事務局長)
監事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 松田 安輝 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)
顧問	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	喜多 豪	石丸 幸男	石丸 幸男	塙本 昭武	塙本 昭武	塙本 昭武	塙本 昭武	塙本 昭武

1987~1994

通常総代会	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度
	第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回	第38回	第39回
理事長	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	野草 平十郎 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)	六島 誠之助 (市長)
専務理事	中嶋 千萬城 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)	山本 朗 (助役)	山本 朗 (助役)	中嶋 千萬城 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)
常務理事	三木 宏 (市議会議員) 阪本 義一 (市議会議員) 伊達 徳次郎 (小田取次所協議会) 三谷 庄司 (住友金属尼崎労組) 鳥生 翁 (市民局長) 佐竹 三木夫 (事務局常勤)	馬場 武夫 (市議会議員) 掛井 正彦 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 鳥生 翁 (市民局長) 佐竹 三木夫 (事務局常勤)	石本 星 (市議会議員) 馬場 武夫 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 堀内 弘和 (市民局長) 山口 和彌 (事務局常勤)	石本 星 (市議会議員) 多田 敏治 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 堀内 弘和 (市民局長) 山口 和彌 (事務局常勤)	石本 星 (市議会議員) 古屋 隆敏 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 二越 甫 (市民局長) 大西 敏彰 (事務局常勤)	小野 清一 (市議会議員) 三宅 光子 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 大西 敏彰 (事務局常勤)	中川 日出和 (市議会議員) 中野 清嗣 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 松田 英雄 (事務局常勤)	石本 星 (市議会議員) 小柳 久嗣 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 松田 英雄 (事務局常勤)
理事	小田原 良雄 (市議会議員) 藤原 軍次 (市議会議員) 大下 貫一 (本庁取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 梅沢 竹松 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 今泉 茂 (民生福祉局長) 今井 健祐 (消防局長)	河端 幸子 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳久 年郎 (民生福祉局長) 今井 健祐 (消防局長)	奥村 雅造 (市議会議員) 伊東 信生 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 山中 茂 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳久 年郎 (民生福祉局長) 今井 健祐 (消防局長)	辻松 利雄 (市議会議員) 流目 寿子 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 大戸 晶 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 今北 初枝 (連合婦人会) 増田 忠泰 (民生福祉局長) 大西 敏彰 (消防局長)	中野 清嗣 (市議会議員) 片平 康博 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 大戸 晶 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 福間 達夫 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 今北 初枝 (連合婦人会) 増田 忠泰 (民生福祉局長) 堂本 嘉巳 (消防局長)	井口 和子 (市議会議員) 柏川 順子 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 大戸 晶 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 竹本 満男 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 今北 初枝 (連合婦人会) 増田 忠泰 (民生福祉局長) 堂本 嘉巳 (消防局長)	谷川 正秀 (市議会議員) 滝内 はる子 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 大戸 晶 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 竹本 満男 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 今北 初枝 (連合婦人会) 増田 忠泰 (民生福祉局長) 堂本 嘉巳 (消防局長)	竹原 利光 (市議会議員) 畠山 郁朗 (市議会議員) 中尾 隆 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 大戸 晶 (立花取次所協議会) 城江 俊一 (園田取次所協議会) 石井 助一 (武庫取次所協議会) 竹本 満男 (関西電力労組) 禱 誠四郎 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 藤田 ハルエ (連合婦人会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 今北 初枝 (連合婦人会) 増田 忠泰 (民生福祉局長) 堂本 嘉巳 (消防局長)
監事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 古田 長次 (市監査委員)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※3)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※4)
顧問	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫	佐藤 俊夫
事務局長	塙本 昭武	田中 允之	田中 允之	田中 允之	田中 允之	山路 篤男	山路 篤男	中田 翁

(※3) 尼崎簡易裁判所調停委員

(※4) 尼崎市固定資産評価審査委員

# 歴代役員一覧

1995～2002

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002
通常総代会	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
	第40回	第41回	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回
理事長	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)	宮田 良雄 (市長)
専務理事	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	藤田 浩明 (助役)	山田 耕三 (助役)	山田 耕三 (助役)	山田 耕三 (助役)
常務理事	石本 晟 (市議会議員) 瀬井 幸則 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 上杉 浩三 (組合事務局長)	石本 晟 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 石本 操 (市民局長) 上杉 浩三 (組合事務局長)	石本 晟 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 山本 恒雄 (住友金属尼崎労組) 矢富 勝亮 (市民局長)	中川 日出和 (市議会議員) 牧田 隆 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	中川 日出和 (市議会議員) 米田 守之 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	波多 正文 (市議会議員) 小柳 久嗣 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	寺本 初己 (市議会議員) 牧田 隆 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)	寺本 初己 (市議会議員) 杉山 公克 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組)
理事	田之上 鉄男 (市議会議員) 森 茂子 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 的場 康夫 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 西 政男 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 福島 輝喜 (学識経験者)	西中川 憲男 (市議会議員) 丸山 佳伸 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 的場 康夫 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 小川 善次郎 (土木局長)	西中川 憲男 (市議会議員) 丸山 佳伸 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 的場 康夫 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 堂本 嘉巳 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	下地 光次 (市議会議員) 丸岡 盛夫 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小坂 貞子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	安田 雄策 (市議会議員) 竹原 利光 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小松 多賀子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	新本 三男 (市議会議員) 竹原 利光 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 小松 多賀子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 幸博 (尼崎市職員労組) 山路 鉄男 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	真鍋 修司 (市議会議員) 丸尾 孝一 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 徳田 利夫 (水道労組) 堂園 隆司 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)	小柳 久嗣 (市議会議員) 長崎 寛親 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 川本 キミ子 (水道労組) 堂園 隆司 (大同鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 近成 義男 (消防局長) 大井 善雄 (土木局長)
監事	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (福成会理事長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (福成会理事長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (退職者互助会会長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (退職者互助会会長)	池田 清一 (商店連盟会長) 溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (退職者互助会会長)	溝口 信次 (消防団長) 幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長)	溝口 信次 (消防団名譽団長) 幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長)	溝口 信次 (消防団名譽団長) 幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長)
顧問								
事務局長	上杉 浩三	上杉 浩三	上杉 浩三	辯田 修三	早川 巍	小田 敏夫	小田 敏夫	小田 敏夫

(※ 5) 退職者互助会理事長

2003~2010

通常総代会	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
	第48回	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回
理事長	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)	白井 文 (市長)
専務理事	山田 耕三 (助役)	江川 隆生 (助役)	江川 隆生 (助役)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)	江川 隆生 (副市長)
常務理事	寺本 初己 (市議会議員) 龜田 孝幸 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 宮本 勝 (市民局長) 駒澤 明雄 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 滝内 はる子 (市議会議員) 公門 將彰 (立花取次所協議会) 坂口 輝雄 (住友金属尼崎労組) 宮本 勝 (市民局長) 駒澤 明雄 (事務局常勤)	安田 雄策 (市議会議員) 寺本 初己 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 梅樹 末良 (住友金属尼崎労組) 玉井 啓一 (市民局長) 駒澤 明雄 (事務局常勤)	亀田 孝幸 (市議会議員) 寺本 初己 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 梅樹 末良 (住友金属尼崎労組) 玉井 啓一 (市民局長) 駒澤 明雄 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 寺本 初己 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 梅樹 末良 (住友金属尼崎労組) 玉井 啓一 (市民局長) 駒澤 明雄 (事務局常勤)	塚田 晃 (市議会議員) 寺本 初己 (市議会議員) 公門 将彰 (立花取次所協議会) 梅樹 末良 (住友金属尼崎労組) 浅野 悟郎 (環境市民局長) 橋本 雅生 (事務局常勤)	吉岡 健一郎 (市議会議員) 寺本 初己 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集中協議会) 青雲 啓至 (住友金属尼崎労組) 鶴田 茂 (協働推進局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 北村 章治 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集中協議会) 青雲 啓至 (住友金属尼崎労組) 鶴田 茂 (協働推進局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)
理事	平山 丈夫 (市議会議員) 長崎 寛親 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 國本 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 森松 小太郎 (武庫取次所協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄鋼板労組) 土井田 巍 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 吉田 茂 (消防局長) 堂本 嘉巳 (FM あまがさき)	塙見 幸治 (市議会議員) 早川 進 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 宮崎 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫取次所協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄鋼板労組) 山本 保美 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 橋本 雅生 (消防局長) 中村 正典 (組合事務局長)	藤原 軍次 (市議会議員) 菅村 哲仁 (市議会議員) 澤井 正和 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 宮崎 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫取次所協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄鋼板労組) 山本 保美 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 橋本 雅生 (消防局長) 中村 義人 (組合事務局長)	宮城 亜輔 (市議会議員) 吉岡 健一郎 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 宮崎 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫取次所協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 山本 康信 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 吉田 寛 (消防局長) 中村 義人 (組合事務局長)	吉岡 健一郎 (市議会議員) 塚田 晃 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (本庁取次所協議会) 駒井 文子 (小田取次所協議会) 宮崎 和子 (大庄取次所協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫取次所協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 山本 康信 (交通労組) 田端 チエ子 (連合婦人会) 吉田 寛 (消防局長) 大戸 敏之 (組合事務局長)	仙波 幸雄 (市議会議員) 高橋 藤樹 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (本庁募集中協議会) 望月 敏男 (小田募集中協議会) 加賀 きよみ (大庄募集中協議会) 橋本 延治 (園田募集中協議会) 岩田 千代 (武庫募集中協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 山本 保美 (交通労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 吉田 寛 (消防局長)	前迫 直美 (市議会議員) 高橋 藤樹 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集中協議会) 望月 敏男 (小田募集中協議会) 加賀 きよみ (大庄募集中協議会) 橋本 延治 (園田募集中協議会) 岩田 千代 (武庫募集中協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 山本 保美 (交通労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 吉田 寛 (消防局長)	津田 加寿男 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集中協議会) 望月 敏男 (小田募集中協議会) 加賀 きよみ (大庄募集中協議会) 橋本 延治 (園田募集中協議会) 岩田 千代 (武庫募集中協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 山本 保美 (交通労組) 高寺 俊也 (交通労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 野草 信次 (消防局長)
監事	幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (※ 5) 山田 義雄 (商店連盟会長) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (退職者互助会顧問) 山田 義雄 (商店連盟顧問) 生越 敏雄 (消防団長)	幾田 次夫 (退職者互助会顧問) 山田 義雄 (商店連盟顧問) 生越 敏雄 (消防団長)	井内 進 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)
顧問								
事務局長	中村 正典	中村 正典	中村 義人	中村 義人	中村 義人	大戸 敏之	大戸 敏之	大戸 敏之

(※ 5) 退職者互助会理事長  
(※ 6) 大西東福祉協会親和会

# 歴代役員一覧

2011～2017

	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
通常総代会	平成23年度 第56回	平成24年度 第57回	平成25年度 第58回	平成26年度 第59回	平成27年度 第60回	平成28年度 第61回	平成29年度 第62回
理事長	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	本田 良生	本田 良生
専務理事	江川 隆生 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	村山 保夫 (副市長)	中川 一 (市民協働局長)	中川 一 (市民協働局長)
常務理事	寺本 初己 (市議会議員) 福島 さとり (市議会議員) 公門 將彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (住友金属尼崎労組) 中浦 法善 (協働推進局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 開 康生 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (住友金属尼崎労組) 中浦 法善 (市民協働局長) 小寺 敬二 (事務局常勤)	寺本 初己 (市議会議員) 杉山 公克 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※ 7)	寺本 初己 (市議会議員) 眞田 泰秀 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※ 7)	寺本 初己 (市議会議員) 前迫 直美 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※ 7)	寺本 初己 (市議会議員) 北村 竹師 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※ 7)	津田 加寿男 (市議会議員) 前迫 直美 (市議会議員) 公門 将彰 (立花募集人協議会) 小野 昌宏 (※ 7)
理 事	津田 加寿男 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 高寺 俊也 (交通労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 野草 信次 (消防局長)	丸岡 鉄也 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	小柳 久嗣 (市議会議員) 高濱 黄太 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	弘中 信正 (市議会議員) 宮城 亜幅 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 八木 光子 (※ 6) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	徳田 稔 (市議会議員) 北村 竹師 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 本田 良生 (消防局長)	土岐 良二 (市議会議員) 徳田 稔 (市議会議員) 小原 伊乃枝 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 加賀 きよみ (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 河本 博志 (消防局長)	北村 竹師 (市議会議員) 久保 高章 (市議会議員) 佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田募集人協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 堂園 隆司 (日鉄住金鋼板労組) 野村 カヤ子 (連合婦人会) 河本 博志 (消防局長)
監 事	井内 進 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	井内 進 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)
顧 問						稻村 和美 (市長) 村山 保夫 (副市長)	稻村 和美 (市長) 森山 敏夫 (副市長)
事務局長	大戸 敏之	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且	上田 広且

(※ 6) 大西東福祉協会親和会

(※ 7) 新日鐵住金尼崎労組

(※ 8) 2016年から理事長事務局常勤

2018~2025

通常総代会	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	第63回	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回
理事長	本田 良生	本田 良生	河本 博志	河本 博志	河本 博志	河本 博志	赤川 孝平	赤川 孝平
副理事長	福井 進 (市民協働局長)	河本 博志	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	土元 英樹 (総務局長)	松長 寿枝 (総務局長)	松長 寿枝 (総務局長)
常務理事	公門 将彰 (立花募集人協議会) 木本 啓介 (※7) 上田 広且 (組合事務局長)	公門 将彰 (立花募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組) 上田 広且 (組合事務局長)	望月 敏男 (小田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 木本 啓介 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 荒木 泰則 (日本製鉄尼崎労組)	望月 敏男 (園田募集人協議会) 荒木 泰則 (日本製鉄尼崎労組)
理 事	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 河本 博志 (消防局長) 芝軒 崇晃 (総務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 望月 敏男 (小田募集人協議会) 中井 敏子 (大庄募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 岩田 千代 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)	佐久間 路子 (中央募集人協議会) 中尾 孝子 (小田募集人協議会) 梅澤 裕子 (大庄募集人協議会) 橋爪 弘子 (立花募集人協議会) 橋本 延治 (園田取次所協議会) 浜田 百合子 (武庫募集人協議会) 赤川 孝平 (消防局長) 中村 由起子 (組合事務局長)
監 事	島田 幸司 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	松風 俊明 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	上岡 良照 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)	上岡 良照 (消防団長) 小畠 敬重 (不動産鑑定士)
顧 問	稻村 和美 (市長) 森山 敏夫 (副市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	稻村 和美 (市長)	松本 真 (市長)	松本 真 (市長)	松本 真 (市長)
事務局長	上田 広且	上田 広且	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子	中村 由起子

(※7) 新日鐵住金尼崎労組

(※8) 2016年から理事長事務局常勤

# 組織図





沿革

70<sup>th</sup>  
Anniversary

設立経緯

## 1 尼崎市民共済の誕生

高度経済成長期に入った昭和30年、当時は住宅が不足しているうえに、火災発生のリスクは非常に高く、一瞬にして建物、家財を失う悲惨な状況でした。当組合の誕生は、「自分の力では防ぎきれない災害に遭ったとき直ちに救われる道を平素から考えておくことが大切だ。」とされたことから始まります。そこで、戦後まもなく制定された消費生活協同組合法（以下「生協法」という。）を活用し、自分たちの協同組合を結成することで、協同の組織により相互扶助の精神に則りできるだけ安い掛金で共済し合うことが最も安全で近代的であると考え、尼崎市が中心となり市議会議員、商工会議所議員、地元有識者60人などの発起により発足し、昭和30年12月20日、創立総会を開催しました。

これに大きく関わった人物に、当時の尼崎市顧問でもありました賀川豊彦氏の存在があります。賀川氏は、当時の尼崎市長薄井一哉氏に市独自の財源として生命・火災保険の運営を強く進言していました。そこで、尼崎市では、賀川氏の発案により全国初の試みとして生協法による生命・火災

保険事業を行うことにより、この利益金で6千戸の勤労者の無料アパートを建設する計画を密かにすすめていたようです。この計画については知る由もありませんが、賀川氏が当組合の設立から2年間、当組合の顧問に就任し、共済事業の基礎を作ることにご尽力くださいました。火災共済事業を開始した後に住宅事業に着手したことは、まさしく賀川氏の影響だったのではないかと思われます。

# 市民共済生活協同組合

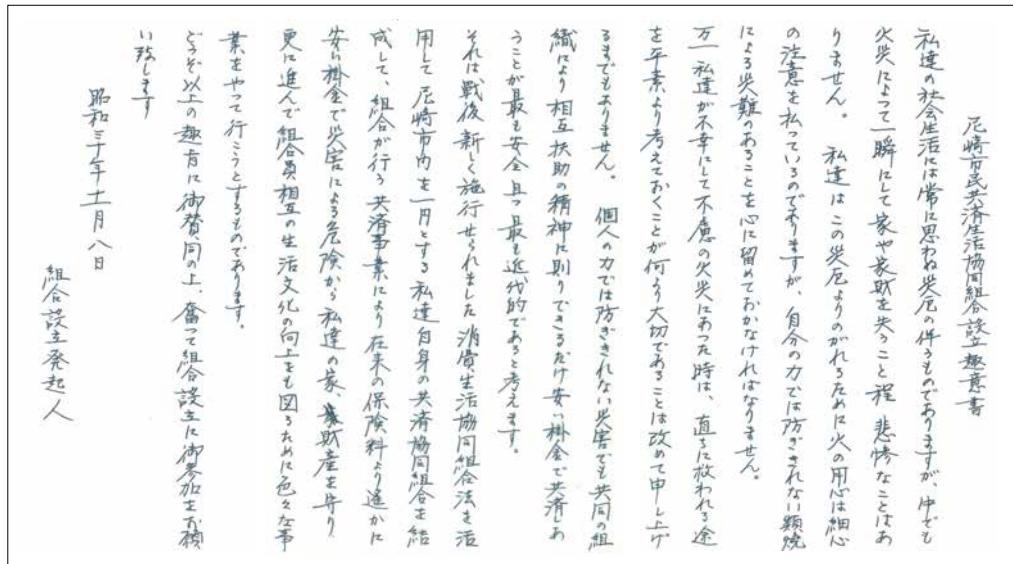
## いよいよ来春発足

## (1) 設立発起人会の開催

昭和30年11月8日、設立発起人57人出席のもと設立発起人会が開催され、設立趣意書が制定されました。

### ＜設立発起人＞

明田 謙二	秋田 茂綱	碇 音吉	池田 清一	池田 徳誠	岩井 よね	泉 湧二	薄井 一哉
瓜生ヨシノ	大石 忠一	大塚 俊実	奥田満太郎	開田長太郎	垣岡喜代一	梶本 正	加藤 みつ
加茂 鶴一	河合 陽雄	河本 秀夫	岸 浩	日下 梅吉	鴻池 勝治	小西 学	小村 一郎
阪本仁三郎	佐藤 俊夫	篠田 隆義	松竹 友吉	白石 市郎	白髪信次郎	高石 進	高寺 保美
高岡 達雄	田中 永壽	田中 正雄	玉井栄太郎	滝下 幸男	土田 有間	塚原 輝道	寺井弥三市
寺澤 末義	土井 由松	柄尾 喜一	中田 差輔	中田 寅一	中西 勘次	中林 英夫	中村 千世
西田 弘	西村 亀	沼里 定吉	根塚 繁夫	野草平十郎	橋村 熊吉	橋本正三郎	羽田伊太郎
羽藤 一夫	林 はる	原田 鷹市	原田 永信	日高 重義	平松 友三	福田 弥平	藤枝清太郎
藤本 義秋	前田空之助	收 達夫	松井よしひろ	松田 安輝	松永 義雄	松浦 一馬	松本松太郎
三木久次郎	溝口 信次	宮本 清一	村上 一	森 豊子	安田栄太郎	柳田 鄉務	山下 幾平
山下 栄二	山原 正一	横山 栄藏	吉村 望	鶴尾 栄次			



設立趣意書（昭和30年11月8日）

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 災害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 災害の予防と減災

9. 災害の復旧と復興

10. 災害の復興

11. 災害の復興

12. 災害の復興

13. 災害の復興

14. 災害の復興

15. 災害の復興

16. 災害の復興

17. 災害の復興

18. 災害の復興

19. 災害の復興

20. 災害の復興

21. 災害の復興

22. 災害の復興

23. 災害の復興

24. 災害の復興

25. 災害の復興

26. 災害の復興

27. 災害の復興

28. 災害の復興

29. 災害の復興

30. 災害の復興

31. 災害の復興

32. 災害の復興

33. 災害の復興

34. 災害の復興

35. 災害の復興

36. 災害の復興

37. 災害の復興

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 災害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 災害の予防と減災

9. 災害の復旧と復興

10. 災害の復興

11. 災害の復興

12. 災害の復興

13. 災害の復興

14. 災害の復興

15. 災害の復興

16. 災害の復興

17. 災害の復興

18. 災害の復興

19. 災害の復興

20. 災害の復興

21. 災害の復興

22. 災害の復興

23. 災害の復興

24. 災害の復興

25. 災害の復興

26. 災害の復興

27. 災害の復興

28. 災害の復興

29. 災害の復興

30. 災害の復興

31. 災害の復興

32. 災害の復興

33. 災害の復興

34. 災害の復興

35. 災害の復興

36. 災害の復興

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 災害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 災害の予防と減災

9. 灾害の復旧と復興

10. 灾害の復興

11. 灾害の復興

12. 灾害の復興

13. 灾害の復興

14. 灾害の復興

15. 灾害の復興

16. 灾害の復興

17. 灾害の復興

18. 灾害の復興

19. 灾害の復興

20. 灾害の復興

21. 灾害の復興

22. 灾害の復興

23. 灾害の復興

24. 灾害の復興

25. 灾害の復興

26. 灾害の復興

27. 灾害の復興

28. 灾害の復興

29. 灾害の復興

30. 灾害の復興

31. 灾害の復興

32. 灾害の復興

33. 灾害の復興

34. 灾害の復興

35. 灾害の復興

36. 灾害の復興

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 灾害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 灾害の予防と減災

9. 灾害の復旧と復興

10. 灾害の復興

11. 灾害の復興

12. 灾害の復興

13. 灾害の復興

14. 灾害の復興

15. 灾害の復興

16. 灾害の復興

17. 灾害の復興

18. 灾害の復興

19. 灾害の復興

20. 灾害の復興

21. 灾害の復興

22. 灾害の復興

23. 灾害の復興

24. 灾害の復興

25. 灾害の復興

26. 灾害の復興

27. 灾害の復興

28. 灾害の復興

29. 灾害の復興

30. 灾害の復興

31. 灾害の復興

32. 灾害の復興

33. 灾害の復興

34. 灾害の復興

35. 灾害の復興

36. 灾害の復興

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 灾害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 灾害の予防と減災

9. 灾害の復旧と復興

10. 灾害の復興

11. 灾害の復興

12. 灾害の復興

13. 灾害の復興

14. 灾害の復興

15. 灾害の復興

16. 灾害の復興

17. 灾害の復興

18. 灾害の復興

19. 灾害の復興

20. 灾害の復興

21. 灾害の復興

22. 灾害の復興

23. 灾害の復興

24. 灾害の復興

25. 灾害の復興

26. 灾害の復興

27. 灾害の復興

28. 灾害の復興

29. 灾害の復興

30. 灾害の復興

31. 灾害の復興

32. 灾害の復興

33. 灾害の復興

34. 灾害の復興

35. 灾害の復興

36. 灾害の復興

昭和三十一年十一月八日 尼崎市民共済生活協同組合事業計画書

一、方針

この組合は、尼崎市内に在住又は在勤する有する消費及び収入がある組合員の精神に開拓された貢献に恵み、尼崎市の生活文化化のための貢献を目的とするが、特に災害準備と防災として組織をあげることをもつものである。

二、事業の種類

1. 廉價販賣の生活文化化の貢献と開拓する事業

2. 灾害事業

3. 組合員に対する福利の向上を図る事業

4. 其他の事業

5. 事業の運営

6. 会員事業

7. 会員の生活の改善及び文化の向上を図るための諸事業、講習会、講演会等の開催等、既存は即時行な配布してその活動向上を図る。

8. 灾害の予防と減災

9. 灾害の復旧と復興

10. 灾害の復興

11. 灾害の復興

12. 灾害の復興

13. 灾害の復興

14. 灾害の復興

15. 灾害の復興

16. 灾害の復興

17. 灾害の復興

18. 灾害

## 2 火災共済事業の開始

昭和31年2月1日、事務所を尼崎市役所保険課内に置き、尼崎市を事業区域として、火災共済事業がスタートしました。

募集主体を社会福祉協議会、各労働組合、市民保険組合としたことは、全国で初めてで、これには厚生省（現厚生労働省）が注目していました。初年度1万人を加入目標に火災共済の一斉募集が開始され、わずか1ヵ月間で1万4千人（世帯）の組合加入があり、この好成績に発起人のみならず厚生省並びに県当局者も驚きと喜びを隠せませんでした。

※一斉募集の主な協力団体は、25ページに記載しています。



昭和31年2月 尼崎市の広報車に横断幕を掲げ、火災共済の一斉募集が開始されました。（あまがさきアーカイブズ提供）



取次店の看板を掲げた家  
(昭和43年3月 あまがさきアーカイブズ提供)

### ※火災共済付帯保険の取扱い開始

平成23年10月1日、火災共済では保障することができない他人への賠償責任を補償する、全国共済生活協同組合連合会が取扱う借家人賠償責任保険の取扱いを開始

募集開始から1年後の昭和32年1月末には組合員数が1万6千人（世帯）を超え、これは当時の市の世帯数の20%にあたりました。契約高は24億円に達し、掛金収入は830万円となり予想以上の成績でした。この方法が全国に広まり、その後各地の市民共済設立に大きな影響を与えるまでに成長し、契約1口あたり25円の出資振替により組合資本の充実を図り、昭和51年度決算にはさらに掛金充当も行い、契約者の負担軽減に努めました。

昭和39年4月 市内の6地区（本庄・小田・大庄・立花・武庫・園田）に共済契約事務取次所（現 共済募集人）が設置され、地域に根差した取組みの環境が整いました。

組合員の自宅を訪問し、掛金の集金をする取次所には、目印となるような看板が掲げられました。取次所は、親から子へと、また共済契約も親から子へと受け継がれ、近所の「共済さん」として親しみと信頼を得ました。

ピーク時には100ヶ所を超える取次所がありました。

しました。続いて平成29年9月15日、類焼損害費用保険、個人賠償責任保険を追加しました。

### 3 住宅事業の開始

昭和37年度から住宅事業にも乗り出しました。共済組合が住宅事業に携わることも、全国初の試みでした。

昭和30年代後半、住宅が不足し市民の住宅事情が非常に劣悪であったことから、尼崎市の住宅施策、公営住宅供給の補充的な役割を果たすため、尼崎市より無償で敷地が提供され、年金福祉事業団の融資及び銀行等からの借入金により鉄筋コンクリート5階建住宅が建設されました。

まずは、昭和38年10月にガス風呂・水洗トイレ・バルコニー付き2DK48.82m<sup>2</sup>の1棟30戸が完成しました。入居条件は、組合員であること、厚生年金保険の被保険者であること、収入月額が平均41,000円以上であること、入居家族が2人から5人であることとされました。これには申込みが殺到し、抽選により入居者を決定していました。

昭和41年7月までに3DK57.28m<sup>2</sup>も加わり、全5棟総戸

**住宅建設に乗出す**  
尼崎市民共済生活協同組合（理事長薄井市長）では、三十七年度から新しい事業として住宅建設を計画。近く同組合の規約を改正する。市の同年度の住宅建設は鉄筋建七十二戸と木造三十戸の分譲住宅だけで、多くの事業をかかえて住宅建設に手が回らないのでこれを側面的に助けようというもの。同組合では厚生省の融資を受け、鉄筋百戸を建設、二万八千組貯金の希望者に貸す予定である。

『朝日新聞』(昭和37年3月9日 阪神版)

数150戸と集会室1棟が建設され「生協住宅富松団地」が完成しました。

残念ながら平成20年の生協法の改正により富松団地は平成25年3月31日に尼崎市に譲渡し、住宅事業は廃止されました。その後10年間の退去猶予期間を経て、令和5年3月31日に富松団地は閉鎖されました。



富松団地（昭和60年2月 あまがさきアーカイブズ提供）



### 競争率一九・五倍

共済生協 富松団地入居申し込み

尼崎市民共済生活協同組合の富松団地（東富松押櫛）入居者募集は二十日締め切られたが、鉄筋コンクリート五階建て、四十戸に選、七月中旬入居の予定。

『読売新聞』  
(昭和41年4月24日 尼崎版)



富松団地（昭和63年2月 あまがさきアーカイブズ提供）



# 設立経緯

## 4 交通等傷害共済事業の開始

昭和40年代になると、火災事故や交通事故による死傷者が増加するようになりましたが、保険金や賠償金の請求は保険金がすぐに支払われませんでした。そこで当組合は「安い掛け金」、「早い支払い」をキャッチワードに、昭和42年4月1日、交通事故と火災事故によるケガを保障する交通等傷害共済をスタートさせました。

初年度は14,193人の加入があり、昭和49年7月から昭和52年3月までは、高齢者と心身障害の方に、市が掛け金の一部を助成していました。

平坦な尼崎市内においては、自

転車が市民の足となっていたことや加入に年齢制限がないことで、昭和60年には加入者が5万3千人を超みました。これは当時の市の人口の10%にあたりました。また、この年に4人以上の家族全員が加入すると掛け金を割引く「家族パック」が導入されました。



『市報あまがさき第398号』(昭和42年4月5日)



## 5 受託共済事業の開始

平成11年4月1日、かねてより多数の要望があった生命、病気への保障のニーズに応えるべく、日本生活協同組合連合会(現 日本コープ共済生活協同組合連合会)のCO・OP共済「たすけあい」(総合医療共済)の取扱いを開始しました。取次所(現 共済募集人)の積極的な呼びかけにより、初年度1,045人、2年目2,414人、3年目2,731人と

順調に加入者数を伸ばしていき、平成19年には取扱い以来最多の4,266件の加入がありました。その後CO・OP共済「あいぶらす」(定期生命共済)、CO・OP共済「ずっとあい」(終身共済)、「CO・OP学生総合共済」の取扱いを追加しました。

## 6 保険代理事業の開始

### (1) 共栄火災海上保険株式会社

#### ①個人用火災総合保険の取扱い開始

平成30年9月4日に台風21号が阪神間を通過し尼崎市にも多大な被害が発生しました。これを皮切りに組合員より多数の要望があった自然災害を補償する商品の取扱いの検討を始めました。令和2年10月1日、個人用火災総合保険(安心あっとホーム)の取扱いを開始しました。

#### ②交通事故傷害保険の取扱い開始

交通等傷害共済の加入者にも賠償責任を担保する保険に加入できるよう、令和3年10月1日、交通等傷害共済に賠償責任補償特約付交通事故傷害保険を組み合わせ、通称名「交通等傷害共済あんしんセット」の取扱いを開始しました。令和5年から2年間尼崎市全域に加入キャンペーンを実施し令和6年度末の加入者数は919人となりました。

### (2) 三井住友海上火災保険株式会社

令和7年11月1日、がん、急性心筋梗塞、脳卒中に備える「コープの三大疾病保険」の取扱いを開始しました。

一斉募集時の協力団体（名称は当時の記載情報から引用 50音順）

旭勤労者生活協同組合  
尼崎菓子工業組合  
尼崎北警察署  
尼崎公共職業安定所  
尼崎市交通局  
尼崎市潮江市民保険組合  
尼崎市消防職員共助会  
尼崎市職員組合  
尼崎親和市民保険組合  
尼崎製鉄  
尼崎東警察署  
尼崎連合美容部会  
尼商市民保険組合  
市立尼崎高校  
株式会社尼崎製釘所労働組合  
紙文具市民保険組合  
川上塗料株式会社  
関西電力労働組合尼崎支部

関西電力労働組合兵庫火力支部  
神田中央市民保険組合  
関労尼二支部分会  
関労尼崎第一発電所支部  
木村鉛鐵機械工業所  
久保田武庫川機械労働組合  
市民保険養寿会  
白石工業株式会社尼崎工場  
新尼崎生活協同組合  
神鋼鋼線鋼索労働組合  
住友鋼管労働組合  
全金日本研磨機支部  
全国金属労働組合東洋精機支部  
全日通労働組合尼崎港分会  
大同鋼板労働組合  
大日織維工業労働組合  
大日電線本社労働組合  
大日本セルロイド神崎工場労働組合

竹谷なでしこ会  
坪和市民保険組合  
帝国酸素株式会社尼崎工場共済会  
帝国酸素労働組合尼崎支部  
出屋敷駅前商店組合  
出屋敷商店街市民保険組合  
ナニワ工機労働組合  
日亜鋼業労働組合  
日亜製鋼尼崎工場労働組合  
日本硝子尼崎支部  
日本スピンドル労働組合  
阪神商工共済会  
東町市民保険組合  
道意保険組合  
三菱電線株式会社伊丹製作所  
森永製菓

## 当初の申込書等

## 当初の組合加入及び共済契約申込書



当初の組合員証



### 当初の共済契約引受証

# 70年のあゆみ

昭和		概要
23年	7月30日	<p>消費生活協同組合法が制定される。 (昭和23年7月30日法律第200号)</p> <p>国民の自発的な生活協同組織の発達を図り、 もって国民生活の安定と生活文化の向上を 期することに関する法律</p> <p>(昭和23年10月1日施行)</p>  <p>生協法の施行を知らせる厚生省のポスター(1948年) (日本生協連資料室提供)</p>
30年	11月8日	組合設立発起人会を開催
	12月20日	<p>組合創立総会を開催</p> <p>初代理事長 薄井一哉 (尼崎市長) 常務理事4人、理事10人、監事3人、 顧問2人 (役員定数 理事15人以内、監事3人以内)</p> <p>主たる事務所 尼崎市北城内47番地 (尼崎市役所保険課内)</p> <p>従たる事務所 尼崎市長洲中通1-1 尼崎市西字口ノ開159番地 尼崎市栗山字松本104 尼崎市東武庫字北畑223番地 尼崎市口田中167番地</p>  <p>市役所市長室に賀川氏を迎える (昭和33年12月 あまがさきアーカイブズ提供) 左から2人目 篠田隆義 助役 中央 薄井一哉 市長 右から2人目 賀川豊彦 顧問</p>  <p>昭和32年当時の市役所 (あまがさきアーカイブズ提供)</p>
	12月27日	県知事より「尼崎市民共済生活協同組合」の 設立を認可される。
31年	1月21日	組合設立の登記完了 出資口数1,000口、出資金額50,000円
	2月1日	火災共済事業開始 (契約限度額20万円) 市内各町会、消防団、婦人会、労働組合等 の協力により契約の一斉募集開始
		『市報あまがさき第129号』 (昭和31年1月20日)
		



# 70年のあゆみ

昭和		概要
32年	5月28日	<p>火災共済 付加給付金制度を創設（契約者死亡の際5,000円+掛金累計を支給）</p> <p>『市報あまがさき第162号』 (昭和32年6月5日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">尼崎市民共済生活 共同組合（理事長 薄井市長）ではこ んど全国で初めて の試みとして付加 給付金の規定を設 けて直ちに実施す ることになりました。 これは火災共 済契約を引続いて 2年以上契約して いる組合員が死亡 した場合は、これまで払い込ん だ二年分の掛金へ五千円を加えた 額が付加給付金（二年分の掛金が 返してもらえ、それに五千円を加 えるの意）として遺族に支払われ ることになったもので、同事業が 健全な発展をとげていることと共に この画期的の試みは各方面から 大へん注目されています。</p> <p style="text-align: center;"><b>掛金 + 5000円=死亡給付金</b> <b>火災共済の新しい制度</b></p> </div>
34年	1月1日	火災共済 限度額を40万円に引き上げ、掛金を平均15%引き下げる。
35年	5月24日	火災共済 付加給付金制度を改正（契約者死亡の際1,000円を支給）
37年	1月1日	火災共済 限度額を100万円に引き上げ、掛金を平均13%引き下げる。 付加給付金制度を廃止
	6月15日	昭和37年度決算により、利用分量割戻しと組合資本の充実を期するよう総代会において決議される。
	10月15日	<p>事務所移転 住所 尼崎市東七松町1 (現尼崎市役所内)</p> <p>『市報あまがさき第290号』 (昭和37年10月5日)</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;"><b>新市庁舎落成</b> 秋空に浮かぶサービスセンター</p> </div>
38年	5月	<p>生協住宅富松団地第1期工事着工、 10月 2DK型住宅30戸完成</p> <p>現在の富松団地（令和7年4月17日撮影）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">富松団地入居者募集 市民共済生活協同組合は、 東高松字押櫛一九二に、鉄筋コン クリート造五階建の住宅（6棟、 45戸、台所兼食室、ガス風呂、バ ルコニー、一戸当たり四十八・八二 平方㍍）を建てました。公募賃数 は30戸、家賃は1～4階月額七千 五百円、五階七千三百五十円。 申し込み用紙は10月7日から10 月11日まで（午後3時を除く） 市役所各支所で配布し、10月15 日から10月17日まで市役所本庁で 申し込みを受け付けます。抽選は、 10月21日。</p> <p>申し込んだ賃格は、市内に住むか 勤務先があり、厚生年金保険の被 保険者であること。2人以上5人 以内の入居家族があり、平均月取 四方一千円以上あることなどにな ります。入居予定は11月下旬、く わしいことは、市役所内市民共済 係へ。</p> </div> <p>『市報あまがさき第313号』(昭和38年9月30日)</p> <div style="text-align: center;"> <p>尼崎に共済住宅30戸</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合では、はじめて厚生年金の還元賃貸三千二百円で受け、同市東高松に鉄筋五階建三十戸の共済住宅を建てることに着工、十月完成する。四月末に着工、十月完成するが、一戸四十八・五平方㍍、厚生年金保険の加入者に入居資格がある。なお、引き継いで百十戸分を建てたいと申請している。</p> </div> <p>『朝日新聞』(昭和38年4月13日 阪神版)</p>

昭 和		概 要
38年	7月1日	火災共済 剩余金処分として、利用分量割戻しを始める。(契約1口につき25円の出資充当)
	10月	生協住宅富松団地第2期工事着工、翌年5月2DK型住宅40戸完成
39年	4月1日	火災共済 全国共済生活協同組合連合会(以下「全共連」という。)と再共済の授受に関する基本契約締結 出再率10%
	4月1日	各地区(本庁、小田、大庄、立花、武庫、園田地区)に共済契約事務取次所を新設
		<p>尼崎市民共済生活協同組合の富松団地第二期住宅が近く完成するので、二十日から三日間、同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。</p> <p>鉄筋コンクリート五階建、四百戸。六戸、四・五戸、台所兼食堂の各室とガスふろつき。家賃は一ヶ月五千円以上というのが入居者の資格。</p> <p>なお、入居申込み用紙は十一日から十六日まで同協組事務局で渡す。</p>
		<p>『朝日新聞』(昭和39年5月2日 尼崎版)</p>
		<p>十四倍の競争</p> <p>共済生協住宅の申込み</p> <p>市民共済住宅の申込み</p> <p>二千日から受け付け</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合の富松団地第二期住宅が近く完成するので、二十日から三日間、同市役所七階の同協組事務局で入居申込みを受付ける。</p> <p>鉄筋コンクリート五階建、四百戸。六戸、四・五戸、台所兼食堂の各室とガスふろつき。家賃は一ヶ月五千円以上というのが入居者の資格。</p> <p>なお、入居申込み用紙は十一日から十六日まで同協組事務局で渡す。</p>
		<p>『朝日新聞』(昭和39年5月23日 尼崎版) (昭和39年5月26日 尼崎版)</p>
40年	5月20日	生協住宅富松団地第3期工事着工、12月3DK型住宅40戸完成
		<p>『朝日新聞』(昭和40年1月23日 尼崎版)</p>
		<p>一むねを年内に建設</p> <p>市民共済生協組の鉄筋住宅</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合(理事長薄井市長)に、このほど年金福祉事業団から三十九年度分住宅融資四千六百四十万円の決定通知が届いた。</p> <p>同協組では借入金など合わせ総額六千万円で、同市東富松押櫃(おしひつ)に、五階建一むね四十戸の鉄筋住宅を年内に完成する。</p> <p>なお、東富松押櫃には、すでに同協組のアパート二むね七十戸が建てられているが、これまでいずれも二部屋と台所だけだが、ことし建つ分は三部屋と台所である。</p>
		<p>『朝日新聞』(昭和40年10月13日 尼崎版)</p>
		<p>来月に受け付け</p> <p>市民共済生協の住宅四十戸</p> <p>尼崎市民共済生活協同組合(理事長薄井市長)は、同市東富松押櫃に建てていた鉄筋コンクリートづくり五階建四十戸の住宅が近く完成するので、十一月八日から十日まで、市役所七階の市民共済事務局で入居者の申込みを受付ける。</p> <p>一戸につき六戸間と四戸半の間隔、台所兼食堂(約五戸)それにガス一口、水洗便所、バルコニーもついて五七・二八平方㍍の広さ。家賃は一ヶ月が一万二千円、五階が一万一千八百円。敷金は家賃月額の六ヶ月分となる。</p> <p>申込資格は①尼崎市内に住所または勤務先があり、住宅に困っている②厚生年金保険の被保険者③二人以上の家族で平均月収が六万円以上などの条件をそなえているもの。十一月十二日午前十時から市役所で抽選があり、当選者は十二月中旬から来年一月中旬まで期間に入居できる予定。</p>

# 70年のあゆみ

昭 和		概 要
46年	5月28日	<p>組合創立15周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈、祝賀会開催 表彰者：総代24人、役員15人、取次所83人、団体33ヶ所</p>
47年	11月1日	<p>火災共済 契約限度額を300万円に引き上げる。 交通等傷害共済 被共済者1人1口につき掛金600円を500円に引き下げる。 (ハイヤーは1,500円)</p>
		<p style="text-align: center;"><b>火災共済 契約限度額300万円に</b></p> <p style="text-align: center;"><b>交通傷害は治療1日でも支払います</b></p> <p style="text-align: right;">(昭和47年9月20日)『市報あまがさき第529号』</p> <p style="text-align: right;">(昭和47年9月20日)『市報あまがさき第538号』(昭和48年2月5日)</p> <p style="text-align: right;">(昭和48年9月20日)『市報あまがさき第553号』(昭和48年9月20日)</p>
48年	2月1日	<p>火災共済 掛金を平均18% 引き下げる。</p>
	10月1日	<p>火災共済 契約限度額を500万円に引き上げる。 交通等傷害共済 契約掛金限度額を100万円に引き上げる。</p>

# 70年のあゆみ

昭 和		概 要																			
49年	7月1日	<p>交通等傷害共済 掛金の一部を市が助成する。          (対象 老人・心身障害者)          →昭和52年3月31日 助成廃止</p> <p style="text-align: center;">『市報あまがさき第571号』          (昭和49年6月20日)</p>																			
		 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>共済掛金と共済金 (1人2口まで加入できます)</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">契約 掛金</th> <th colspan="2">共済掛金</th> <th colspan="2">共 済 金</th> </tr> <tr> <th>助成額</th> <th>本人負担</th> <th>支 払 不具合金</th> <th>共 済 金 (1日につき)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 口</td> <td>500円</td> <td>250円</td> <td>250円</td> <td>50万円 30万円 入院 40万円</td> </tr> <tr> <td>2 口</td> <td>1,000円</td> <td>500円</td> <td>750円</td> <td>100万円 60万円 入院 1,000円 連院 800円</td> </tr> </tbody> </table>	契約 掛金	共済掛金		共 済 金		助成額	本人負担	支 払 不具合金	共 済 金 (1日につき)	1 口	500円	250円	250円	50万円 30万円 入院 40万円	2 口	1,000円	500円	750円	100万円 60万円 入院 1,000円 連院 800円
契約 掛金	共済掛金			共 済 金																	
	助成額	本人負担	支 払 不具合金	共 済 金 (1日につき)																	
1 口	500円	250円	250円	50万円 30万円 入院 40万円																	
2 口	1,000円	500円	750円	100万円 60万円 入院 1,000円 連院 800円																	
50年	5月30日	<p>組合創立20周年記念式典を行う。          感謝状・記念品の贈呈          表彰者：総代7人、役員2人、取次所97人、団体39ヶ所</p>																			
	7月1日	火災共済 契約限度額を700万円に引き上げる。																			
51年	8月1日	<p>契約事務処理機（オリベッティ社製）導入</p>  <p style="text-align: center;">昭和51年9月 あまがさきアーカイブズ提供</p>																			
52年	1月1日	火災共済 物件別契約限度額を引き上げる。																			
	4月1日	契約事務処理機による処理開始																			
	4月1日	尼崎市武庫社会福祉連合協議会と共に契約事務委託契約締結 昭和51年12月16日より事務取扱実施（昭和63年ごろ契約解除）																			
	7月1日	火災共済 契約者の負担軽減のため、利用分量割戻し方法として掛金充当を実施																			
	12月28日	<p>市消防施設充実強化の協力に対し、内閣総理大臣より紺綬褒章を受ける。</p> <p>紺綬褒章とは、1918年（大正7年）に創設された国の褒章制度の一つで、公益のために私財を寄付された方（個人及び団体）へ授与される褒章</p> 																			

昭 和		概 要
53年	11月 1日	<p>火災共済 契約限度額を1,000万円に引き上げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #fffacd;"> <p style="text-align: center;"><b>あなたも市民共済に</b></p> <p style="text-align: center;">の火災共済 契約限度額</p> <h1 style="text-align: center;">一千万円に引上げ</h1> <p style="text-align: center;">市報あまがさき第675号 (昭和53年10月20日)</p> </div>
54年	4月 10日	<p>正規職員の採用開始（1名採用） (市派遣職員7名、正規職員1名、臨時職員5名)</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>昭和54年12月 あまがさきアーカイブズ提供</p> </div> <p style="text-align: center;">前列左から2人目 松川優子 (勤務期間 S54.1～H24.3) 後列左から3人目 小西博美 (勤務期間 S52.4～H25.3)</p>
	7月 1日	<p>火災共済 全共連支部業務の受託に関する協定書並びに覚書を締結 元受火災共済事業 限度額500万円を受託し、実質的に限度額1,500万円となる。 →平成16年12月31日解除 火災共済 掛金を平均12.7%引き下げる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #fffacd;"> <p style="text-align: right;">あなたも加入を</p> <p style="text-align: center;"><b>火災共済 掛金引下げ</b></p> <p style="text-align: center;">限度額1,500万円に</p> <p style="text-align: center;">この看板のあるお宅で</p> </div> <p style="text-align: center;">市報あまがさき第692号 (昭和54年7月5日)</p>

# 70年のあゆみ

昭和		概要																				
55年	3月31日	尼崎市消防局に消防指揮車2台寄贈(中11号車、北11号車)																				
	5月29日	組合創立25周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈 表彰者:総代・役員・取次所等96人、団体34ヶ所																				
	10月1日	火災共済 建物・動産の時価及び契約制限額の見直し																				
		<p>『市報あまがさき第721号』 (昭和55年9月20日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>火災共済を充実</b></p> <p><b>建物別契約額を引き上げ</b></p> <p style="text-align: right;">10月から</p> <p>安い掛金で万一一に備えて いただく火災共済を充実す るため、市民共済生活協同 組合は、建物別契約限度額 を平月一日から引き上げま す。契約最高限度額は、これ までより一口十万円単位 で百五十口、千五百万円で すが、建物の種類や面積に より設けている限度額です。 例えば、一戸建て専用住 宅、店舗併用住宅の持家で て生じた損害のみ対象とし ていましたが、最近のマン ションなどの火災を伴わな い場合は、本紙に折込ま りをご覧ください。</p> </div>																				
56年	3月	事務処理用電子計算システム(日本ユニバックス社製)購入																				
	10月1日	理事定数の改正21人(改正前20人)																				
	10月1日	火災共済 ・破裂・爆発を事業の対象とする。 ・共済給付金内容の改善(1.43倍)																				
		<p>『市報あまがさき第746号』 (昭和56年10月5日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>火災共済を充実</b></p> <p><b>爆発事故も対象</b></p> <p>市民共済生活協同組合は 十月一日から火災共済の対 象に破裂(水道管を除く)、早 い間に爆発による災害に 爆発事故を加えました。 これまで、火災によつ て生じた損害のみ対象とし ていましたが、最近のマン ションなどの火災を伴わな い場合は、本紙に折込ま りをご覧ください。</p> </div>																				
	11月1日	交通等傷害共済 ・被共済者1人1口につき掛金500円に統一 ・契約限度額を200万円に引き上げ ・車いすを車両に定義 ・共済金の特例 (8,000円未満は8,000円支給)																				
		<p>『市報あまがさき第748号』 (昭和56年11月5日)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>交通等傷害共済を充実</b></p> <p><b>最高200万円の保障</b></p> <p><b>車いす事故も対象に</b></p> <p>市民共済生活協同組合は 十一月一日から、契約限度 額の引き上げなど、交通等 傷害共済の内容を一層充実 していきます。 契約限度額は、これ までの年齢10歳未満で百円 の保障だったのが、四口半 歳未満で200万円の保障 に引き上げました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">共済金と契約限度額(1人4口まで加入できます)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">契約額↓</td> <td style="text-align: center;">共済金→死 共 済 金</td> <td style="text-align: center;">亡 身 体 障 害 共 済 金</td> <td style="text-align: center;">医 療 共 済 金 (1日につき)</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1口 50万円契約 の場合</td> <td style="text-align: center;">50万円</td> <td style="text-align: center;">30万円</td> <td style="text-align: center;">入院 500円 通院 400円</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4口 200万円契約 の場合</td> <td style="text-align: center;">200万円</td> <td style="text-align: center;">120万円</td> <td style="text-align: center;">入院 2,000円 通院 1,600円</td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table> </div>	共済金と契約限度額(1人4口まで加入できます)					契約額↓	共済金→死 共 済 金	亡 身 体 障 害 共 済 金	医 療 共 済 金 (1日につき)		1口 50万円契約 の場合	50万円	30万円	入院 500円 通院 400円		4口 200万円契約 の場合	200万円	120万円	入院 2,000円 通院 1,600円	
共済金と契約限度額(1人4口まで加入できます)																						
契約額↓	共済金→死 共 済 金	亡 身 体 障 害 共 済 金	医 療 共 済 金 (1日につき)																			
1口 50万円契約 の場合	50万円	30万円	入院 500円 通院 400円																			
4口 200万円契約 の場合	200万円	120万円	入院 2,000円 通院 1,600円																			

昭 和		概 要
57年	12月 1日	<p>事務所移転 尼崎市昭和通2丁目51番地 尼崎市中小企業センター7F (現 尼崎市昭和通2丁目6番68号)</p>   <p>看板 平成21年6月設置</p>
59年	7月 1日	<p>火災共済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が1,000万円に引き上げられ、実質的に限度額2,000万円となる。</li> <li>・基本料金をベースにした割増、割引制を個別掛金額制に改める。</li> <li>・アーケードを廃止し、市場及び特殊物件等の整理に伴い一部掛金を引き下げる。</li> <li>・木造(非耐火)専用住宅の掛金単価を100円から90円に引き下げる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>『市報あまがさき第812号』 (昭和59年7月5日)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>このほど、火災共済の内容がより加入していくべきものに変わりました。この機会にぜひご加入ください。</p> <p>市民共済は、市民の皆さんが「一、火災や交通事故などの不運の事故に遭われた場合、市民の助け合いなどで経済的な保障を行つていい」の契約取次所に申込んでください。お宅に伺い契約手続きをします。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>市民共済の火災共済</b></p> <p><b>契約最高限度額2,000万円・木造専用住宅掛金1口90円に</b></p> <p><b>火災共済の契約内容</b></p> <p>七月一日から、火災共済の最高契約限度額をこれまでの千五百万円から二千五百万円に引き上げ、掛け金は木造専用住宅についてこれまでの一回百円から九十九円にするなど引き下げています。昨年度は八十八件の火災事故について共済金をお支払して、より安い掛け金により大きな保証を受けられる火災共済にご加入ください。</p> <p><b>傷害共済にご加入を</b></p> <p>交通等傷害共済の契約は、年五百円の掛け金で死亡時五十万円の保険から年三千円の掛け金で死亡時一百万円の保険までの四種類。事故に遭つて通院や入院された時に毎日数に応じて共済金が支払われます。年々増加する交通事故に備えてご加入を。</p> <p>加入を希望される人は、尼崎市民共済事務局(昭和通二丁目四八八八号)へお問い合わせください。お宅に伺い契約手続きをします。</p> </div> </div> </div>
60年	3月 29日	<p>尼崎市消防局に消防指揮車寄贈 (中1号車)</p>   <p>受納式の様子 (尼崎市消防局・あまがさきアーカイブズ提供)</p>
	5月 30日	<p>組合創立30周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈、祝賀会開催 表彰者: 総代30人、役員12人、取次所57人、団体32ヶ所</p>

# 70年のあゆみ

昭和		概要																				
60年	8月1日	<p>交通等傷害共済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的な事業経営基盤の安定化を図るため、「家族パック」制度を導入する。</li> <li>・現行の入院、通院日数に応じて支払う日額制を治療実態に即した21段階の期間制に改める。</li> </ul> <p>『市報あまがさき第838号』 (昭和60年8月5日)</p> <table border="1"> <caption>共済金のお支払い額</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>1口</th> <th>2口</th> <th>3口</th> <th>4口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>死亡</td> <td>50万円</td> <td>100万円</td> <td>150万円</td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td>身体障害</td> <td>30万円</td> <td>60万円</td> <td>90万円</td> <td>120万円</td> </tr> <tr> <td>医療</td> <td>8千円 ~9万円</td> <td>8千円 ~18万円</td> <td>9千円 ~27万円</td> <td>1万2千円 ~36万円</td> </tr> </tbody> </table>	区分	1口	2口	3口	4口	死亡	50万円	100万円	150万円	200万円	身体障害	30万円	60万円	90万円	120万円	医療	8千円 ~9万円	8千円 ~18万円	9千円 ~27万円	1万2千円 ~36万円
区分	1口	2口	3口	4口																		
死亡	50万円	100万円	150万円	200万円																		
身体障害	30万円	60万円	90万円	120万円																		
医療	8千円 ~9万円	8千円 ~18万円	9千円 ~27万円	1万2千円 ~36万円																		
62年	2月	事務処理用電子計算システム 買換え (日本ユニバックス社製 シリーズ8システム200)																				

平成		概要
元年	4月1日	<p>火災共済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共済事故の範囲の拡大 航空機の墜落（落下物含む）、自動車の飛び込み、漏水（耐火構造のみ）及び落雷による損害を新たに加える。</li> <li>・費用共済金の新設 臨時費用、残存物取片付け費用、失火見舞費用、修理費用、漏水見舞費用（耐火構造のみ）を新たに設ける。</li> </ul> <p>『市報あまがさき第924号』 (平成元年3月5日)</p> <p>申し込みは、中小企業センター内市民共済事務局（昭和通2丁目6-68 ☎481-0005）か取次所へ</p>
	4月1日	火災共済 全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が2,000万円に引き上げられ、実質的に限度額3,000万円となる。

平 成		概 要
元年	7月6日	<p>尼崎市消防局に消防指揮車寄贈 (尼消1号車)</p>  <p>受納式の様子 (あまがさきアーカイブズ提供)</p>
2年	6月18日	<p>組合創立35周年記念式典を行う。 感謝状・記念品の贈呈、祝賀会開催 表彰者：総代10人、役員2人、取次所15人、団体1ヶ所</p>
	8月27日	<p>自動車購入 (トヨタ マークII 1,838,350円) →平成29年7月24日廃車</p> 
3年	4月1日	<p>火災共済</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>組合の契約最高限度額が2,000万円に引き上げられ、実質的に限度額4,000万円となる。</li> <li>共済掛金額の整理統合 商店1種・2種併用住宅を併せて商店併用住宅とし、掛金額を耐火150円、木造（非耐火）280円に改める。</li> <li>共同住宅・市場・特殊物件・バラックを併せて特級物件とし、掛金額を耐火250円、木造（非耐火）380円に改める。</li> </ul>
6年	7月25日	<p>軽自動車購入 (スズキ ワゴンR 1,102,970円) →令和7年1月16日廃車</p> 
	10月1日	交通等傷害共済 治療実態に即した21段階の期間制から日額制に改める。

# 70年のあゆみ

平成		概要																
7年		<p>1月17日 兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）発生</p>  <p>平成7年1月 あまがさきアーカイブズ提供</p>																
3月31日		外務員制度を廃止し、取次所に移行																
6月		<p>兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）により罹災した火災共済契約者へ、見舞金を支給する。 平成8年3月31時点 支払総額 328,826,048円</p> <table border="1" data-bbox="339 909 1362 1066"> <tr> <th>損害程度</th><th>地震による火災損害の支払額</th><th>損害程度</th><th>地震による倒壊損害の支払額</th></tr> <tr> <td>全焼</td><td>共済金額3%相当額</td><td>全壊</td><td>共済金額0.5%相当額</td></tr> <tr> <td>半焼</td><td>共済金額1.5%相当額</td><td>半壊</td><td>共済金額0.25%相当額</td></tr> <tr> <td>一部焼</td><td>一律 3,000円</td><td>一部壊</td><td>一律 3,000円</td></tr> </table>	損害程度	地震による火災損害の支払額	損害程度	地震による倒壊損害の支払額	全焼	共済金額3%相当額	全壊	共済金額0.5%相当額	半焼	共済金額1.5%相当額	半壊	共済金額0.25%相当額	一部焼	一律 3,000円	一部壊	一律 3,000円
損害程度	地震による火災損害の支払額	損害程度	地震による倒壊損害の支払額															
全焼	共済金額3%相当額	全壊	共済金額0.5%相当額															
半焼	共済金額1.5%相当額	半壊	共済金額0.25%相当額															
一部焼	一律 3,000円	一部壊	一律 3,000円															
9年		<p>7月17日 事業区域を「尼崎市」から「兵庫県」に拡大する</p> <p>10月20日 掛金振込みによる契約更新開始（払込先：尼崎信用金庫・郵便局）</p> <p>10月20日 掛金口座振替による申込受付開始 初回 平成11年2月5日口座振替実施 収納先：さくらファイナンスサービス株式会社（現 三井住友カード株式会社）</p>																
10年	9月1日	法定準備金の積立限度額を「出資金総額の2分の1に相当する額」から「出資総額に相当する額」に改正																
11年	2月5日	掛金口座振替開始（平成11年3月満期分）																
	4月1日	日本生活協同組合連合会（現 日本コープ共済生活協同組合連合会）のC.O・O.P共済「たすけあい」（総合医療共済）の受託事業開始 →平成21年3月21日 日本コープ共済生活協同組合連合会発足																
	4月1日	電算システムを井上情報システムに変更 事務処理開始 (オフコンからパソコンに変更 開発費945万円)																
12年		<p>3月31日 管理職員の市派遣が終了し、翌年度より市退職者を採用</p> <p>6月12日 組合創立45周年記念式典を行う。 感謝状・記念品を贈呈し、記念祝賀会を開催する。 表彰者：総代13人、取次所4人、団体9ヶ所</p> <p>10月1日 火災共済 再取得価額特約を実施 ※再取得価額特約とは、契約額を限度として標準的な建物や家財を再建、再購入するために必要な額を共済金として支払う特約</p>																

平 成		概 要
12年	10月 1日	<p>火災共済 全共連元受火災共済事業の契約最高限度額が4,000万円に引き上げられ、実質的に限度額6,000万円となる。</p> 
13年	8月 29日	日本生活協同組合連合会のCO・OP共済「あいぶらす」(定期生命共済)の取扱い開始
16年	12月 31日	火災共済 全共連火災共済の支部業務の委託に関する協定書(昭和54年7月1日締結)を解除する。(組合限度額が6,000万円となったことに伴う元受火災共済事業の廃止)
17年	1月 1日	火災共済 組合の契約最高限度額を6,000万円に引き上げる。
	5月 30日	<p>創立50周年記念式典を行う。 感謝状・記念品を贈呈</p> <p>特別表彰(創立時に設置した取次所及び団体)：取次所7人、団体13ヶ所 功労賞表彰(25年以上継続)：総代1人、取次所7人、団体2ヶ所</p>
	9月 1日	日本生活協同組合連合会のCO・OP共済「あいぶらす」に「がん特約」の取扱い開始
19年	3月 30日	ホームページ公開 (制作会社:井上情報システム株式会社 354,425円)
20年	4月 1日	新・消費生活協同組合法施行
	7月 1日	<p>役員定数の改正 理事15人以上20人以内(改正前21人) 監事2人以上3人以内(改正前3人)</p>
	12月 31日	取次所制度廃止
21年	1月 1日	<p>共済募集人制度開始 取次所を「共済募集人」に変更し、契約期間を1年とする共済募集人契約を締結</p>
22年	4月 1日	火災共済及び交通等傷害共済の事業規約改正(契約者の保護による規定整備)
23年	7月 1日	日本コープ共済生活協同組合連合会のCO・OP共済「ずっとあい」(終身共済)の取扱い開始
	10月 1日	全国共済生活協同組合連合会(引受保険会社 共栄火災海上保険株式会社)の借家人賠償責任保険の取扱い開始
25年	3月 31日	住宅事業廃止(平成20年4月1日消費生活協同組合法の改正による兼業規制に伴う廃止)
	4月 1日	尼崎市へ住宅事業承継
28年	2月 20日	掛金のコンビニ払い開始 (三菱UFJ ファクター株式会社)
	6月 13日	共済推進員(集金業務)としてフレックス制の嘱託職員を採用

# 70年のあゆみ

平 成		概 要
28年	10月 8日	<p>尼崎市政100周年記念に際し、尼崎市に700万円寄付 このうち、一部が消防局のヒーロースーツ作成に活用される。</p> <div style="text-align: center;">  <p>尼崎市政100周年記念ロゴマーク</p> </div> <div style="text-align: right;">  <p>あまらふ戦隊AAA（トリプルエース） (尼崎市消防局企画管理課提供)</p> </div>
29年	4月 1日	共済推進員を「共済契約推進員」に改め、共済契約推進員就業規程制定 →令和6年9月30日廃止
	9月15日	全国共済生活協同組合連合会(引受保険会社 共栄火災海上保険株式会社)の火災共済付帯保険(個人賠償責任保険、類焼損害費用保険)の追加取扱い開始
	9月28日	理事定数の改正 9人以上13人以内(改正前15人以上20人以内) これに伴い、平成29年6月26日に辞任した市議会選出理事4人の後任を選出せず、理事13人とし、理事数の削減を図った。
30年	3月31日	出資金の端数処理の変更 各組合員の出資金の50円未満の端数を未払込出資金として計上していたが、預り金として計上することに変更した。
	6月15日	常務理事定数の改正1人以上3人以内(改正前1人以上6人以内) 専務理事を副理事長に呼称を変更
	9月 4日	台風21号が阪神間を通過 風水害による住宅への被害が発生し、数日間、停電、断水となるなど、住民生活にも支障を与えた。 これにより組合員から自然災害を補償する商品の要望が多数寄せられた。
	4月 1日	共済募集人を有期雇用から無期雇用に転換(平成31年3月14日労働契約書締結)

令 和		概 要
元年	8月1日	ホームページリニューアル公開 (制作会社:株式会社アルファミクス 1,360,800円)
2年	1月21日	自然災害を対象とする保険商品及び引受保険会社決定(第3回理事会) 保険商品:個人用火災総合保険(安心あっとホーム) 引受保険会社:共栄火災海上保険株式会社
	3月31日	電算システムの開発に、株式会社エイ・エス・ビーとソフトウェア開発業務委託契約締結 納期 令和2年12月20日 契約金額 1,540万円
	4月7日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による 緊急事態宣言の発令 (令和2年4月7日～5月21日解除) 新型コロナウイルス感染症予防の対応 4.8 集金業務を全面停止 4.8 尼崎市にマスク2,500枚を寄付 5.22 第1回理事会が書面議決となる。 6.5 第65回通常総代会は、出席総代 1人(議長)書面議決123人で開催 6.5 第2回理事会が書面議決となる。
	8月27日	財務局の損害保険代理店登録完了(共栄火災海上保険株式会社代理店)
	8月27日	共栄火災海上保険株式会社と損害保険代理店委託契約を締結
	10月1日	共栄火災海上保険株式会社の「個人用火災総合保険(安心あっとホーム)」の取扱い開始
	10月1日	共済業務委託団体24団体と新業務委託契約を締結(火災保険業務等追加)
	12月1日	共済募集人28人と新労働契約を締結 職員としての位置付けにより、コーポ共済募集人資格を全員が取得、火災保険募集人資格を8人が取得
3年	1月14日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再発令(令和3年2月28日解除) 職員の勤務編成として、時短勤務、週1日の在宅勤務を実施 集金業務は、第1回目の緊急事態宣言解除後の振込対応を継続
	3月31日	新電算システム一部納品(経理プログラムのみ令和3年4月1日使用開始) (開発業者:株式会社エイ・エス・ビー) 令和4年2月1日 完全稼働
	4月26日	兵庫県に新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の再々発令 (3回目:令和3年4月26日～6月30日、4回目:8月20日～9月30日) 職員の勤務編成として、時短勤務を実施 集金業務は、第1回目の緊急事態宣言解除後の振込対応を継続
	6月4日	第66回通常総代会は、新型コロナウイルス感染症予防のため規模を縮小し開催 出席総代1人(議長)、書面議決115人
	9月1日	日本コーポ共済生活協同組合連合会の学生総合共済事業及び全国大学生協共済生活協同組合連合会が行う短期生命共済事業の受託事業を開始 (令和4年4月1日保障開始)

# 70年のあゆみ

令 和		概 要																
3年	10月1日	<p>「交通等傷害共済あんしんセット」の取扱い開始</p>  																
4年	1月1日	共済募集人(26人)の労働契約書にみなし労働時間を明記するため労働契約を改める。																
	2月1日	電算システムの稼働(旧システム打ち切り) (開発業者:株式会社エイ・エス・ビー)																
	4月1日	係制から担当制に組織変更																
	6月3日	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、第67回通常総代会は規模を縮小し、出席総代46名、書面議決77名で開催																
6年	3月31日	共済推進員制度 休止																
	9月30日	共済推進員制度 廃止																
7年	1月16日	<p>軽自動車購入 (スズキ ワゴンR 1,353,530円)</p>  																
	5月22日	<p>三大疾病を対象とする保険商品及び引受保険会社決定(第1回理事会)</p> <p>保険商品:コープの三大疾病保険</p> <p>引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社</p>																
	6月6日	<p>第70回通常総代会を開催</p> <table> <tr> <td>出席総代</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>・本人出席</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>・書面議決</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>・委任状出席</td> <td>2人</td> </tr> </table> <p>組合創立70周年記念式典を開催</p> <table> <tr> <td>来場者数</td> <td>523人</td> </tr> <tr> <td>・来賓</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>・一般</td> <td>474人</td> </tr> <tr> <td>・関係者</td> <td>11人</td> </tr> </table>   <p>総代会の記念品(フェイスタオル)</p>	出席総代	124人	・本人出席	92人	・書面議決	30人	・委任状出席	2人	来場者数	523人	・来賓	38人	・一般	474人	・関係者	11人
出席総代	124人																	
・本人出席	92人																	
・書面議決	30人																	
・委任状出席	2人																	
来場者数	523人																	
・来賓	38人																	
・一般	474人																	
・関係者	11人																	
	8月	三井住友海上火災保険株式会社と損害保険代理店委託契約を締結																
	11月1日	三井住友海上火災保険株式会社の「コープの三大疾病保険」の取扱い開始																

ポスター

昭和44年1月作成

昭和45年5月作成

昭和48年10月作成

あなたのくらしを守る  
市民共済をご存知ですか!!

くわしいことの  
お問合せは

尼崎市の保護する  
火災共済  
交通事故等傷害共済  
申込次第

年1000円の掛け金で  
最高100万円の補償

あなたが加入して  
おまかづけで  
火事だ  
カープを走らせて  
共ハイ  
事故だ  
よからなくて  
加入して  
わざかな掛け金で  
最高700万円まで補償

電話番号 481-0102-0005-4829

尼崎市民共済生活協同組合  
相談会2丁目玉至構成員

昭和50年7月作成

昭和51年11月作成

平成元年4月作成

平成元年4月作成

平成9年頃作成

# 時代と歩んだ広告物

## バス車内ポスター広告

あなたの暮らしに 安心をプラス

火災共済

交通等傷害共済  
あんしんセット  
(賠償責任補償特約付)

尼崎市民共済生活協同組合

CO·OP共済  
たすけあり  
あいがまき

安心あっとホーム  
(自然災害補償火災保険)

尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市中小企業センター7F  
TEL.06-6481-0005

令和3年11月作成(阪神バス)

# 交通等傷害共済 あんしんセット

ご家族全員を補償する 最高2億円の賠償責任補償特約 が付帯

ご加入に 年齢制限なし

セット内容	ご自身の保障(補償)					ご家族全員の補償 賠償責任補償特約	年掛金 年間保険料
	死亡	身体障害	後遺障害	入院	通院		
尼崎市民共済の交通等傷害共済(3口契約)	150万円	90万円	—	1,800円(日額)	1,200円(日額)	—	1,500円
共栄火災の交通事故傷害保険	123万円	—	最高123万円	—	—	2億円	1,500円
合計	273万円	90万円	最高123万円	1,800円	1,200円	2億円	3,000円

兵庫県内にお住まいまたは勤務している方がご加入いただけます!

こちらも取り扱っております 火災共済 CO·OP共済 安心あっとホーム(自然災害補償火災保険)

尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005

尼崎市民共済 検索

令和4年9月作成(伊丹市営バス)

CO·OP共済 ニュース

CO·OP共済のご加入は、尼崎市民共済へ

子育て中のお母さん、お子さんの  
ケガや病気の備えは大丈夫ですか?

たすけあり  
子どもの保障は月掛金 1,000円から

おかげさまで創立70周年

尼崎市民共済生活協同組合 ☎06-6481-0005

火災共済  
交通等傷害共済

令和7年3月作成(阪神バス)

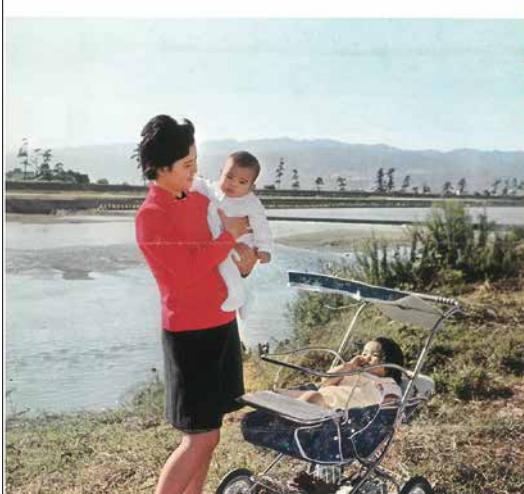
## チラシ

### 火災共済

表

裏

**尼崎市の  
保証する 火災共済**



不時の火災にそなえて  
あなたの大切な財産とご家庭のしあわせを  
お守りする火災共済へご加入下さい

**加入資格**

- ① 尼崎市内に居住する方
- ② 尼崎市内に勤務されている方

△共済掛金 (1口10万円につき年額)

被保険者は上記掛金料に該当する割引・助成をした加減合計額となります。

ただし、無保険については、1つしかできません。又割引についてでは、保険料の差額を支払うものについて、それぞれの割引を算出いただけます。

種別	掛金額	備考
通常料	2,000	
再保険料	500	被保険者が1ヶ月間に2回以上火災保険契約(火災保険料)を支払った場合
耐震補償料	1,500	耐震改修工事による増額料
安全料	600	「火災内規則」又は「消防規則」等で、被保険者が1ヶ月間に2回以上火災保険契約(火災保険料)を支払った場合
割引	800	定期保険料に係る割引
修理料	2,000	被保険者が1ヶ月間に2回以上火災保険契約(火災保険料)を支払った場合
マーケット	2,000	日用品店販売業者マーケットに加入している被保険者
共同生活	3,000	ハコ、鉢、花瓶、洋服、寝具、椅子など10点以上
被保険者料	1,200	被保険者の家賃、外食費、公共交通費等を算出する場合
保育料	900	保育園料(月額)又は幼稚園料(月額)を算出する場合

△契約ができる最高額

被保険者一人当たりの保険料	被保険者の合計保険料
1口料 10,000円 (12年) 11,100円	2,000円 1,540円
1口料 10,000円 (20年) 22,000円	2,220円 1,770円
1口料 10,000円 (30年) 33,000円	3,000円 2,400円
1口料 10,000円 (40年) 44,000円	3,680円 3,000円
1口料 10,000円 (50年) 55,000円	4,360円 3,500円
1口料 10,000円 (60年) 66,000円	5,040円 4,200円
1口料 10,000円 (70年) 77,000円	5,720円 4,800円
1口料 10,000円 (80年) 88,000円	6,400円 5,400円
1口料 10,000円 (90年) 99,000円	7,080円 6,000円
1口料 10,000円 (100年) 110,000円	7,760円 6,600円

**お申込み方法**

近くの代理店(下の右欄)  
又は小網賃貸内火災共済  
販賣部へお問い合わせ下さい。  
TEL: (481) 0005

**尼崎市の保証する  
火災共済  
交通等傷害共済  
申込取次所**

昭和46年2月～昭和48年1月作成

### 交通等傷害共済

表

裏

**交通事故からあなたを守る  
交通傷害共済**



街の中は交通事故の危険がいっぱい

ご家族そろって  
交通傷害共済に加入しましょう

**加入資格**

- ① 尼崎市民
- ② 尼崎市内に勤務されている方及びそのご家族

1口10,000円 × 365日 = ご家族3人が安心

**共済掛金は**

- ① 2人以上で加入の場合及び  
火災共済に加入している場合 ..... 500円
- ② 1人で加入する場合 ..... 600円
- ③ タクシー運転手は割増金 ..... 1,000円

**共済の対象は**

- (1) 交通事故の生じて対象になります。
- (2) 交通事故による傷害も対象になります。

**共済金**

死	50万円
不具麻痺、失明	30万円
6ヶ月以上の傷害	10万円
3ヶ月以上の傷害	5万円
1ヶ月以上の傷害	2万円
1週間以上の傷害	5千円

**お申込み方法**

近くの代理店(上の右欄)  
又は小網賃貸内火災共済  
販賣部へお問い合わせ下さい。  
TEL: (481) 0005

**尼崎市の保証する  
火災共済  
交通等傷害共済  
申込取次所**

昭和42年4月～昭和45年4月作成

# 時代と歩んだ広告物

表

中面

**市民共済のご案内**

火災共済に加入しましょう

お互いに火事を出さないよう日常の防火がいかに大切かは申す迄もありませんが、類焼だけは防ぎようがありません。

当共済加入者で火災にあわれた方の内、類焼による罹災者は75%に達しています。

イザという時に備えて火災共済に加入し、安心した生活を楽しんで下さい。

◆共済掛金（1口10万円単位、1年分の掛金）

掛金は基本料（1口につき200円）と、割引・割増（それぞれ1口について）の加減合計によって計算します。

- ・割引・耐火構造（100円）鉄筋コンクリート等の耐火建築
- ・空地（50円）1戸建の専用住宅又は一般商店住宅で、市4m以上の道路に面し、周囲の建物との間に90cm（3尺）以上の空地があるもの
- ・割増・文化住宅（100円）各階の各室に専用の台所・便所のある立派住宅
- ・共同住宅（300円）アパート・寮・下宿・間借り（所有者も含む）等
- ・商店（200円）商店のほか、サービス業・事務所・医療等も含む
- ・アーケード（200円）アーケードに接している建物（市場等を含む）
- ・バラツク（800円）屋根、壁が可燃性のもの又はトタンのもの
- ・特殊物件（400円）火気使用の業種、作業場、引火性物質の貯蔵庫、浴場等（商店割増はいりません）

◆加入の方法

・組合員になって頂くため出資金（50円）を出して頂きます。  
やめる場合は出資金はお返し致します。  
契約金額に応じた掛け金（年1回）を納めて頂きます。

火災共済 交通傷害共済

カサ子には春花の生き残機

尼崎市民共済生活協同組合

TEL（總）8121(市役所) 室内 418~420

中面

裏

昭和44年7月作成

表

中面

令和5年12月作成

# 時代と歩んだ広告物

## 市報あまがさき 広告

**火災共済 保険の申込は**  
いますぐ地区社会福祉協会まで  
受付期間 2月20日迄

**市報あまがさき**

市報あまがさき  
発行所 尼崎市役所 市長室  
発行兼 編集人 土井一秋  
印刷所 オール出版(株)  
有料額 10円

昭和31年2月5日

市民共済の一斉募集が始まります  
この機会に揃つて御加入を!!  
期間 7月20日から 22日間  
申込の取扱は、前回と同様、各地区的  
募集取扱者が致します。  
火事に備えてぜひ一口

**市報あまがさき**

発行所 尼崎市  
郵便番号 651-0347  
代表電話 03501-51141  
発行人 土井一秋  
印刷所 オール出版(株)  
有料額 10円

昭和31年7月5日

**火事** 一斉募集中  
契約金 40万円まで **火災共済でO.K.!!**  
市役所内 TEL 8121  
**尼崎市民火災共済組合**

昭和34年2月5日

大切な財産を守る  
**火災共済**  
一斉募集中 福祉協会でも受付

詳細については (48) 8121番市役所内事務局へ

掛金  
★普通住宅  
○本厅、小田、大庄管内  
5万円契約で年額130円  
○立花、園田、武庫管内  
5万円契約で年額100円  
★店舗作業場併用住宅  
5万円契約で年額250円  
貸家も契約できます

昭和36年2月20日

あなたの財産は  
**火災共済でO.K.!!**

焼けてからでは おしい

市民共済生活共同組合 (市役所7階)

昭和38年2月20日

交通戦争……  
あなたも例外ではありません  
交通等傷害共済に  
ご加入ください

■共済金 死亡50万円をはじめ1週間以上の傷害まで6段階あります  
■掛金 1人で加入する場合年額600円  
■申し込み 市役所内市民共済へ

昭和42年8月20日

昭和43年3月20日

# 交通戦争……あなたも例外ではありません 万一……そんなとき お役に立つのが**交通等傷害共済**です

昭和43年4月5日

みんなの共済  
安心のある暮らし

加入申込みは  
お近くの取次所が市民共済事務局（昭和通2丁目48-3 ☎ 481-0102）へ

昭和50年11月5日

尼崎市の保証する  
火災共済  
交通等傷害共済  
申込取次所

安い掛け金で大きな保障

▷加入できる人 市内在住か在勤の人 ▷契約できる額 1口10万円で最高70口 ▷掛け金例(年額) 1口につき耐火住宅→50円、一般住宅→120円

万一に備えて……  
火災共済に加入を

今年3月末現在、火災共済に加入している組合員で7月1日以降に満期日が来る契約継続者を対象に、前年度の契約分につき一口当たり二十円を割引きしていきます。

たとえば一般木造住宅の場合、前年度の契約が七百円(一戸十万円で七十口)であれば本来の掛け金は一口当たり百二十円で計八千四百円ですが、割引き分が千四百円あるため七千円の掛け金ですみます。

申込みは看板のかかっている家か市民共済事務局(昭和通2丁目48-3・中消防署の2階 2F481-0102)へ

昭和52年12月5日

**鬼に金棒  
暮らしに  
火災共済!**

万一に備え、安い掛け金で大きな保証の  
火災共済を。

他の火災保険に関係なく加入できます

- 加入は市内に在住か在勤の人ならどなたでも
- 契約額は1口10万円で最高70口 700万円まで
- 掛け金(年額)は建物により1口50円~400円

◆加入の手続き 88カ所の申込取次所か市民共済事務局 ☎481-0102へご連絡いただくと係員が伺います。  
継続加入にはお得な割引制度もあります

昭和53年2月5日

昭和54年11月20日

ひとりの災害みんなで共済

◇火災共済▽

最高150口で1,500万円保障  
掛金 年額1口につき耐火住宅  
→50円、一般住宅→100円、文化  
住宅→200円（建物や条件によっ  
て異なります）

万一の場合に備え  
市民共済にぜひ加入を

◇交通等傷害共済▽

最高2口で100万円保障  
掛金 1口50万円につき一般1  
人500円、運転手1人 1,500円

申込みは市民共済事務局（昭和通2丁目48-3☎481-0102）か近くの取次所へ

昭和55年11月5日

# 時代と歩んだ広告物

**火災共済**

**市民共済**

**交通等傷害共済**

最高4口で二百万円の保障。掛金(年額)は1口50万円につき一人500円。死亡共済・身体障害共済・医療共済があります。

車いすによる事故も対象

わざわざかな掛け金大きな安心

申込みは市民共済事務局(昭和通2丁目48~3番481-0005)か取次所へ

昭和56年12月20日

**ひとりの災害  
みんなで共済**

申込みは中小企業センター内市民共済事務局(昭和通2丁目51番481-0005)か取次所へ

昭和58年10月5日

**新規申し込みの窓口が増えます**

市民共済<sup>481-0005</sup>の交通等傷害共済

尼崎市の保証する  
**交通等傷害共済**

新規申込・承ります

★市役所、各支所の市指定金融機関窓口で、新しく受け付けを始めました(武庫支所は2階社会福祉協議会窓口)。時間は午前9時~午後3時(土曜日は正午まで)

★自転車を購入したときは、自転車店で加入を。尼崎自動車商業組合加盟の上マークの掲示がある店で取り扱っています

昭和61年2月20日

**市民共済に加入しませんか**

安い掛け金・早い支払い・簡単な手続き

対象は市内在住か在勤の人

詳しく述べは尼崎市民共済<sup>481-0005</sup>へ。

**火災共済**

最高4,000万円まで契約できます。年額鉄筋住宅5,000円、木造住宅9,000円の掛け金で1,000万円の保障。

**交通等傷害共済**

年額2,000円の掛け金で死亡200万円、後遺障害120万円、通院1,600円(1日につき)、入院2,400円(同)。

総代の補充選挙します

4月1日現在で欠員になっている総代の補充選挙を5月13日に行います。総代候補者は5月5日に市民共済事務局組合掲示板(中小企業センター7階)と各支所に掲示します。4月1日現在の総代欠員数は次の通りです。本府・武庫・園田=各1人、小田=3人、立花=2人、職域団体=6人。詳しく述べは尼崎市民共済へ。

平成9年4月15日

**広告**

**尼崎市民共済**

昭和30年に組合員の相互扶助の精神により助け合うことを目的として設立された消費生活協同組合です。

あんしんをあなたのすぐそばに。

**火災共済**

万一の火災などの事故から住宅や家財を守ります。

付帯保険(火災共済にセッティングできます)  
賠償損害 貸家賠償 費用保険 個人賠償 貸家人賠償 責任保険 責任保険

**生命共済(CO-OP共済)**

ケガや病気、災害など、暮らしの「もしも」を保障します!

**交通等傷害共済**

交通事故(火災事故を含む)による死亡・傷害を保障します。

**安心あっとホーム(共栄火災)**

自然災害や地震も補償する火災保険です。  
※地震は火災保険とは別に地震保険に加入いただく必要があります。

B20-1509-20211020

※はじめて尼崎市民共済をご利用される場合は、出資金50円が必要となります。

**お問い合わせ** 尼崎市民共済生活協同組合 **06-6481-0005** ホームページからも資料請求ができます。  
**資料請求** ☎ 660-0881 尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市中小企業センター7階 FAX 06-6482-2409 営業時間 9:00~17:00(土曜、日曜、祝日、年末年始は休業)

令和2年12月1日

**広告** 尼崎市民共済生活協同組合の交通等傷害共済と共栄火災海上保険株式会社の交通事故傷害保険を組み合わせた商品です

**交通等傷害共済あんしんセット**

ご家族全員を補償する**賠償責任補償特約**が付帯

ご加入年齢制限なし

**交通等傷害共済あんしんセット[組み合わせ例]**

セット内容	ご自身の保障(補償)						ご家族全員の補償 賠償責任補償特約	年掛け金 年間保険料
	死亡	身体障害	後遺障害	入院(日額)	通院(日額)	年齢		
尼崎市民共済の交通等傷害共済(3口契約)	150万円	90万円	—	1,800円	1,200円	—	1,500円	
共栄火災の交通事故傷害保険	123万円	—	最高123万円	—	—	2億円	1,500円	
合計	273万円	90万円	最高123万円	1,800円	1,200円	2億円	3,000円	

22-1120

**交通等傷害共済3口以上の新規セット加入で**

**粗品** (らくなく) **プレゼント実施中!!**

2025年3月31日まで  
※期間中1世帯1回限り

尼崎市民共済生活協同組合 **06-6481-0005** ☎ 660-0881 尼崎市昭和通2丁目6-68 尼崎市中小企業センター7F 営業時間9:00~17:00 定休日/土曜、日曜、祝日、年末年始

尼崎市民共済は、営利を目的としない生活協同組合として、組合員一人ひとりが出資金を出し合い、共同で組合を運営・利用する非営利の組織です。ご利用の場合は、出資金50円以上が必要となります。

詳しくは資料をご請求ください

令和6年6月1日

創立70周年事業

70<sup>th</sup>  
Anniversary



# 創立70周年記念式典



## みなさまへ

拝啓 初夏の候、みなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、本日は、当組合の記念式典にご臨席いただき、心よりお礼申し上げます。こうして70周年という大きな節目を迎えることができますのも、ひとえにみなさまの長年にわたるご支援とご愛顧の贈物と深く感謝いたしております。

本式典は、これまでお支えいただきましたみなさまに感謝の意を表し、楽しんでいただきたいという思いで実現いたしました。本日のみなさまの笑顔を私どもの新たな一步を踏み出す活力とし、これまで以上に組合員のみなさまの期待に応えられますよう努めさせてまいります。

今後も地域に密着した共済生協として「身近な市民共済」「信頼される市民共済」を目指して職員一同努力してまいる所存でございます。

本日が、みなさまにとって、素晴らしいひとときとなりますよう心から願っております。

末筆ではございますが、みなさまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

敬白

尼崎市民共済生活協同組合  
理事長 赤川 孝平

## 尼崎市民共済 70年のあゆみ

1955(昭和30)年12月	尼崎市民共済生活協同組合創立
1956(昭和31)年2月	火災共済事業開始
1963(昭和38)年5月	住宅事業開始
1967(昭和42)年4月	交通等傷害共済事業開始
1992(平成4)年3月	組合員数106,000人突破
1999(平成11)年4月	受託共済事業開始(コープ共済)
2011(平成23)年10月	火災共済付帯保険取扱開始
2013(平成25)年3月	住宅事業廃止(平成20年の生協法改正に伴う兼業規制による廃止)
2020(令和2)年10月	保険代理事業開始(個人用火災総合保険「安心あつとホーム」)
2021(令和3)年10月	保険代理事業に交通事故傷害保険追加 (「交通等傷害共済あんしんセット」取扱開始)



## つむのまるこ 露の団姫

年間250席以上の高座と仏教のPRを両立し全国を奔走する異色の落語家

高校卒業を機に初代・露の五郎兵衛の流れを組む露の団四郎へ入門。3年間の内弟子修行を経て、主に古典落語・自作の仏教落語に取り組んでいます。

### 主な受賞歴

2011年11月 第6回 繁昌亭輝き賞「新人賞」受賞

2017年1月 第54回 なにわ藝術祭落語部門新人賞受賞

2020年12月 第4回 尼崎市文化未来奨励賞受賞

高座の他にもテレビ朝日「ぶっちゃけ寺」、FMラジオ「あま咲き放送局」で活動中  
(上方落語会所属の落語家・天台宗道心寺住職・尼崎市男女共同参画推進員)

## 紙ふうせん

尼崎に育てられたフォークソングデュオ  
歌からハートフルな歌声をご鑑賞ください。

二人は、尼北高校3年生時、クラスメイトとなり、机を並べた。

1967年からフォーウィングのデュエットを組み、日本の伝承歌(「竹田子守唄」「ヨキヨ節」など)と、歐米の伝承歌を歌い、尼崎市武庫之荘の文化会館で「赤い屋根の家・タウンコンサート」を毎月1回開催した。1部は桂米朝門下の若手落語家の落語、2部は7~8組のアマチュアフォークバンドの演奏により、いつも満員の盛会であった。

1967年 デュエット始成

1969年 「赤い島」結成、「第3回YAMAHAライトミュージックコンテスト」グランプリ受賞

1970年 「赤い島」プロデビュー

1974年 「紙ふうせん」として二人で活動開始

2025年 「紙ふうせん」結成51年目となる。



後藤 悅治郎

平山泰代

兵庫県生まれの尼崎市育ち。  
広島県生まれの尼崎市育ち。  
「赤い島」「紙ふうせん」のリード  
ギター・作詞作曲・プロデュース  
サードとして国内外で活動。  
・尼崎市立開明小学校  
・兵庫県立尼崎北高校  
・京都外国语大学

明るいキャラクター  
・尼崎市立七松小学校  
・尼崎市立立花中学校  
・兵庫県立尼崎北高校  
・武庫川女子大学

音楽コンサート

「紙が来る前に  
貰ください」

## プログラム

開会挨拶 理事長 赤川 孝平

来賓祝辞 尼崎市長 松本 滉様

落語 薩の団姫 紙ふうせん

音楽コンサート 書籍「紙ふうせん 歌を紡いで50年」当選者発表 (当選者は2枚ロビーで座席券をご提示ください。)

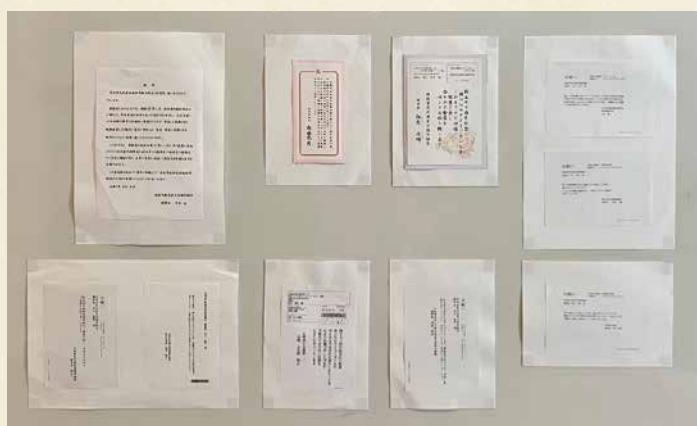
## ご来賓名簿

尼崎市長 松本 滉 様	後藤法律事務所 後藤 康仁 様
兵庫県 県民生活部 県民運動課 藏田 誠也 様	中野会計事務所 公認会計士 中野 和子 様
消費政策課長 米田 誠也 様	公益財團法人 尼崎地域産業活性化機構 理事長 渡邊 恵治 様
全国共済生活協同組合連合会 専務理事 蔡田 一成 様	尼崎信用金庫 東灘支店 支店長 山口 幸男 様
専務理事 渡部 和彦 様	尼崎商工会議所 専務理事 芝 俊一 様
兵庫県生活協同組合連合会 専務理事 江見 淳 様	尼崎医療生活協同組合 理事長 大澤 芳清 様
専務理事 関西地区推進部会長 沢上 真一 様	専務補佐 岸本 貴志 様
関西地区推進部会長 千代田 優 様	日本製鉄尼崎労働組合 組合長 木本 啓介 様
共栄火災海上保険株式会社 神戸支店 支店長 南雲 敏也 様	執行委員 阿部 樹 様
副支店長 中島 道起 様	有限会社 UHMエスデータ 代表取締役 梶原 宏 様
主任 渡瀬 健 様	尼崎市消防団 小田地区 制団長 津田 加寿男 様
大阪市民共済生活協同組合 理事長 林 浩一 様	尼崎市消防団 大庄地区 副団長 沢井 寛一 様
総務課長 龍樹 栄子 様	尼崎市消防団 立花地区 副団長 高谷 兼義 様
西宮市民共済生活協同組合 理事長 岸本 正 様	尼崎市消防団 武庫地区 副団長 高井 伸一 様
係長 渡瀬 健弘 様	尼崎市消防団 園田地区 副団長 小谷 稔 様
神戸市民生活協同組合 専務理事 国田 健二 様	尼崎市消防団 大庄地区 副団長 伊藤 和夫 様
普及推進課長 松下 智博 様	協同組合阪神商工共済会 理事長 小野 騰 様
姫路市民共済生活協同組合 理事長 柏原 告明 様	南塚口中町会 会長 小谷 稔 様
課長補佐 丹本 悠人 様	
三井住友海上火災保険株式会社 生賀推進特命部 飯橋 孝志 様	
神戸第二支社長 宗玄 清秀 様	
神戸第二支社長代理 吉井 亜衣 様	

順不同



(撮影・提供：松尾広国)



お花やお祝いのメッセージをいただきました。



赤川理事長の挨拶



尼崎市長 松本真様に祝辞を賜りました。



大勢の組合員の皆様にご来場いただきました。

(撮影・提供：松尾広国)

# 創立70周年記念式典



露の団姫さんの落語をお楽しみいただきました。 (撮影・提供：松尾広国)



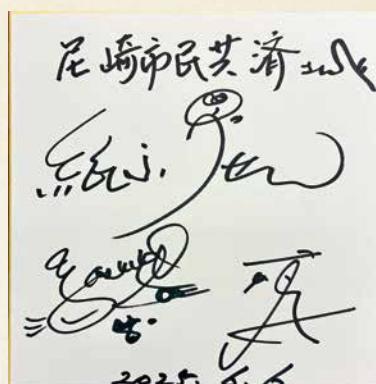
大盛況（生協）でした。



紙ふうせんの音楽コンサートをお楽しみいただきました。 (撮影・提供：松尾広国)



紙ふうせんとアーティストの皆様。とても素晴らしいコンサートでした。



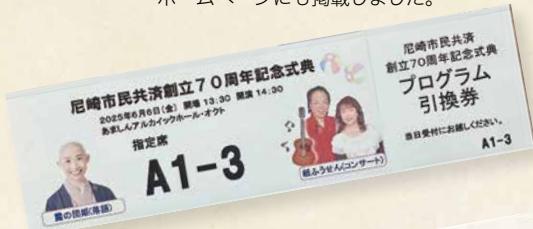
ご来場者に抽選で紙ふうせんと露の団姫さんの本をプレゼントしました。 (撮影・提供：松尾広国)



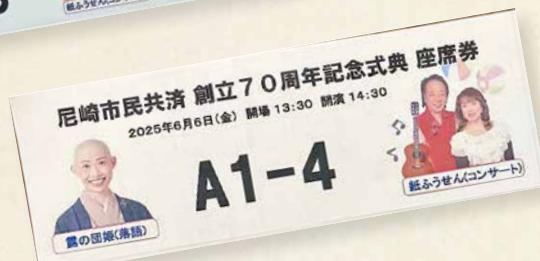
記念式典に向けて広告やチケットなどを作成しました。



応募ハガキ付きチラシをお配りし、  
ホームページにも掲載しました。



事前配付の座席券



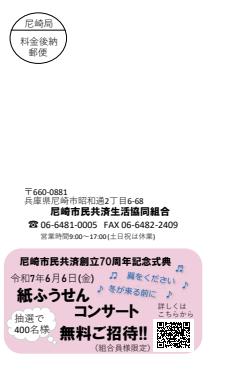
当日引換の座席券



「市報あまがさき」2025年4月号に広告を掲載しました。



ハガキやインターネットから、記念式典に  
たくさんのご応募をいただきました。



尼崎市外の組合員の皆様へ  
ハガキでお知らせしました。



当選された組合員の皆様が  
座席券の引換に持参されたハガキです。

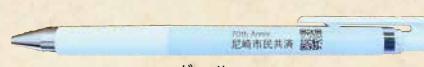
## 記念品



亀井堂総本店瓦せんべい  
記念式典の来場者にお配りしました。



メッシュケース



ボールペン

契約更新時に組合員様にお配りしています。

# 共済募集人からのメッセージ

## 梅澤 裕子

尼崎市民共済生活協同組合創立70周年に立ち会うことができ、大変嬉しく思います。

私が市民共済の仕事に携わって、今年で30となりました。

もともとは義母が行っていた仕事を受け継いだことが、関わりをもつきっかけです。

「共済」という言葉を初めて聞いた時には、どのような仕事なのか、自分に務まるのか不安が大きかったのを覚えています。初めてお客様のもとを訪れる際にはとても緊張したのを今でも忘れられません。その後、年月を重ねる中で多くのお客様との出会いに恵まれ、人と関わることの大切さを学ぶことができました。そして、この仕事を通じて自分自身が大きく成長することができたと感じております。

今まで出会ったお客様、そして市民共済の関係者の皆様は、私にとってかけがえのない大切な財産です。これからも一つひとつの出会いを大切にしながら、お客様はじめ地域社会のお役に立てますよう日々精進してまいります。



## 橋爪 弘子

尼崎市民共済生活協同組合創立70周年の節目に立ち会うことができ、大変嬉しく思います。

義母からの引き継ぎでこのお仕事を始めたのは、阪神大震災のあった平成7年でした。当時は自宅に「尼崎市民共済取次所」の看板を掲げており、その看板を見て組合に加入された方もおられました。

私の最初のお仕事は、契約の更新時に火災共済契約者に震災のお見舞金を届けることでした。震災により被害を受けられた組合員さんも多く、ご自分も大変なはずなのに、お会いした組合員のみなさんは親切にやさしく接してくださいました。前もってお電話でご都合を伺い訪問すると、冬は玄関に温風ヒーターやストーブがついていて暖かく、夏は扇風機が用意されていて冷たいお茶をいたしましたこともあります。少しの間、たわいのない話をしながら契約を交わしたことで、ほんわかした気持ちになれたことを覚えています。

慣れない間は地区の町会地図を片手に自転車で右往左往したことでも楽しい思い出です。アッという間に30年が過ぎましたが、これからも地域のみなさまに安心をお届けできるよう、努めてまいりたいと思います。



## 中尾 孝子

尼崎市民共済の記念すべき創立70周年の節目に立ち会え、とても光栄に思います。

私が中尾家に嫁いだ時、義父は、町会長や消防団の分団長などを担い地域のために活動していました。義父の影響もあり主人や義弟達も消防団に所属し、夜中に火災発生のサイレンが鳴ると家族全員が飛び起き、主人達は火災現場に駆けつけ消防隊員らと連携し消火活動を行い、私はハラハラしながら主人達の帰りを待っていました。

我家の募集人の仕事は、昭和48年に義父の「取次所」から始まり、平成7年に主人が受け継ぎ、その後、平成21年に私が受け継ぎました。このような環境でしたので、災害に備えるよう共済への加入の呼びかけは自然にできました。

義父の時代から継続していただいているお客様もあり、募集人の仕事は地域のみなさんとふれ合えるとてもやりがいのあるものです。

私も年齢を重ね、病気により仕事のできない時期がありましたが、地域のみなさんのお役に立てるようこれからもがんばっていきたいと思います。



## 濱田 百合子

組合員の皆さんに支えられ、組合が創立70周年を迎える私も31年という長い年月を関わせていただいたことに驚きと喜びを感じております。

当初、掛金をお預かりすることが、まるで借金取りのように言われるなど、悲しい思いもしました。仕事を続けていくうちに、年に一度の訪問を心待ちにしてくださる方が多くなり、少しのおしゃべりを楽しみながら手続きをしてくださっていることに感謝しております。



近年は、一人暮らしの高齢の方々も多くなり、詐欺電話を警戒して電話に出てくださらないこともあります。施設に行かれたり、亡くなられたり、寂しいところではありますが、また来年も会えますようにと、待っていてくださる組合員さまがいる限り、頑張らなければと思っています。

子育てから親の介護と私自身の状況が変わる中、様々な方々との『出会い』がありました。短い会話の中で、「私も経験があるわ。頑張ってね。」と何度も励ましていただいたことが人生の糧となっています。

## 三原 明子

我家は三世代に渡り市民共済に携わってきました。

私の祖父は、昭和21年1月に当時の勤務先に労働組合を結成し、初代組合長として労働者の暮らしが豊かになるよう取り組んでいました。退職後にその経験を活かし地域の商店街の人々を対象に「尼崎市潮江市民保険組合」を設立し活動していました。昭和30年に市民共済から加入者募集の協力要請があり、潮江市民保険組合員に火災共済の加入を呼びかけ大勢が市民共済にも加入しました。昭和39年10月からは地域の皆さんに活動の場を広げるため、市民共済の「汐江保険組合取次所」となりました。

私の市民共済の初仕事は、祖父が入院し集金に行けなくなつた昭和44年頃でした。小学生だった私に祖父が「お金の計算ぐらいできるだろう。」と言い1ヶ月ほど火災共済の集金をしたのです。今では考えられないことです。

祖父が80才を過ぎ取次所を廃止して10年ほど経った平成7年3月、事務局から母に「阪神大震災のお見舞金を支払うのに人手が足りない。取次所をやってもらえないか。」と電話がありました。地域の方々のお役に立てることで、母は喜んで取次所を引き受けました。やがて、母も高齢となり、その後は私が受け継ぎ、今年で20年が過ぎました。

私達家族が市民共済の誕生から関わり、記念すべき創立70周年に立ち会えたことを大変うれしく思います。今後も地域の皆さんに寄り添い、共済を広めてまいります。



### 元共済募集人

宮崎 和子 在職期間43年（昭和55年1月～令和5年8月）

中井 敏子 在職期間31年（平成6年9月～令和7年9月）

堀口 ツヤ子 在職期間22年（平成12年4月～令和5年2月）

尼崎市民共済創立70年にあたり、退職後に記念誌の執筆依頼をいただいたことで、活動を共にした仲間が集まる機会となり大変嬉しく思います。

私達は長年、大庄地区の共済募集人として思いをひとつにし、地域の皆さんと共に共済を広める活動をさせていただきました。早速、その活動を振り返ってみましょう。

宮崎 「昭和39年10月、義父が市民共済の『西大島東光取次所』を始め、昭和55年1月に私が引き継ぎ、家事・育児・自営業を熟しながら自転車で受け持ち区域を走り回りました。義父の後押しもあり、毎日が充実して楽しかったです。ありがたいことに、組合員さんにご友人を紹介していただくことが何度もありました。」

中井 「私は取次所を始めたとき不安がいっぱいいて、当時いろいろ教わった宮崎さんが頼りでした。組合員さんに接することがうれしく、集金の依頼や相談があると言われるとすぐにバイクで駆けつけました。いつからか私を頼りにしてくださることにやりがいを感じるようになりました。」

堀口 「私も前任者に助けられました。狭く密集した地域は前任者が一年間同行してくださったおかげで、その後はスムーズに訪問することができました。組合員さんは、温かい方ばかりで、

## 望月 敏男



尼崎市民共済ができる70年になるときく。70年前といえば、戦後復興のまゝ只中で、皆が貧しく生活に追われていた時代に違いない。

阪神尼崎駅の下を流れる庄下川、かつては川底からメタンガスがブクブクと泡立ち、異臭を放っていた。機械油やメッキの廃液が処理されず、工場からそのまま垂れ流されていた為である。公害の町といわれたのも無理はなかった。その庄下川、今では大きな鯉がゆうゆうと泳いでおり、冬には川に架かった配水管にカモメが羽を休める風景が目を慰めてくれる。昔日の思いである。

さて、その庄下川と国道2号線の交わる所の北東に世界の小澤が愛したアルカイックホールがある。そのホールと2号線をはさんで建つ中小企業センターの7階に市民共済の事務所がある。

市民共済の募集人としてかれこれ四半世紀勤めてきたが、色々な人の出会いがあった。挨拶から始まり数分の短い会話なのであるが、やはりそこには人ととの繋がりがあった。勿論全てが全て良き人ばかりではない。不愉快な思いをさせられた事もあった。だが、暑きにつけ、寒きにつけ勞わってくれるお客様の何と多かったことか。その度に報酬を得る為だけに働いているのではないという実感を強く受けた。以前、火事に遭いチリチリの髪と痛々しい火傷を負いながらも礼を言ってくださったお客様のことなどは忘れられない。

今日もパトカーや消防車がサイレンを鳴らしながら走ってゆく。事故は小さなものであってくれ、火事は小さなボヤであってくれと願ってやまない。



年1回の訪問を心待ちにしてくださっていたことが何より励みになりました。」

毎年実施される加入促進運動では、大庄地区共済募集人のみんなで団結し、新規組合員の獲得に邁進しました。声掛けや商品説明の方法など、食事会を楽しみながら教え合ったことでさらに活動力を高められたように思います。また、体調を崩ししばらく仕事ができなくなったときは、近所のだれかが代行し助け合ってきました。本当に良い仲間に巡り合えたからこそ共済募集人という仕事をやり遂げられたのだと思います。この経験は、私達に人に寄り添うことの大切さや笑顔での対応が初対面の方の警戒心を解き翌年の笑顔に触れられることを教えてくれました。

組合員さんの最も近くにいる共済募集人は、地域密着型の原動力となる市民共済の強みでもあり、私達がその役割を担えたことに誇りを感じます。

今後、私達は組合員として市民共済の支えになれたら幸いです。

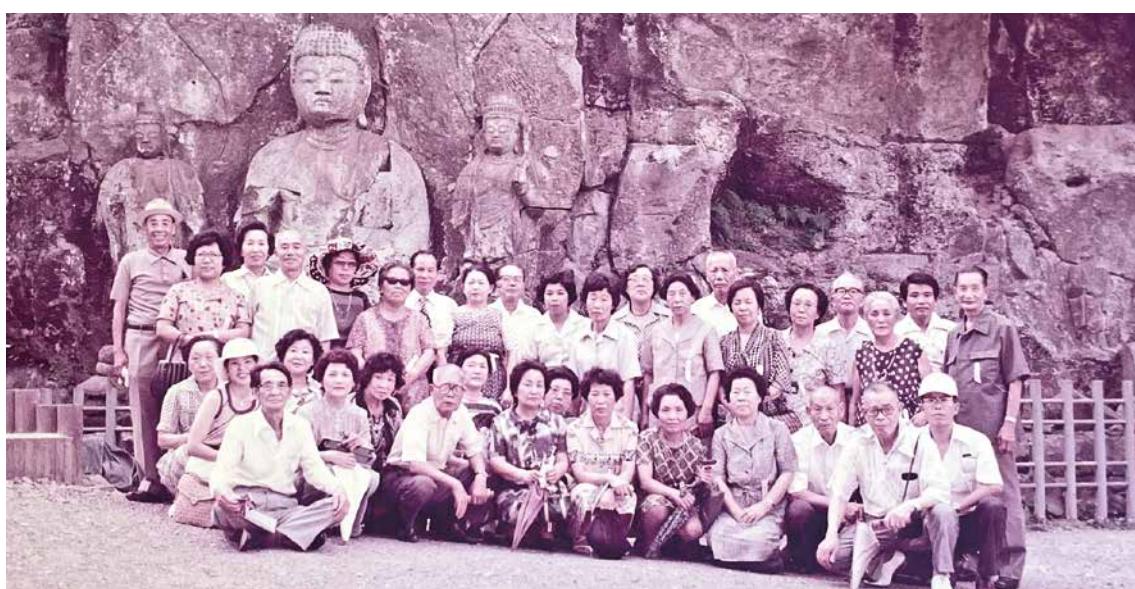
# 取次所（現 共済募集人）の研修旅行



那谷寺参拝記念 昭和41年頃



安芸の宮島 昭和46年6月6日



白杵磨崖仏 昭和52年7月21日



中部山岳国立公園 昭和53年6月7日

写真提供 (S41年～S53年)  
共済募集人 三原 明子



芸達者な取次所の人々が自前の着物や小物を持参して皆を楽しませていたようです。昭和53年6月7日



岡山県武蔵の里 平成14年11月26日 (写真提供 共済募集人 岸田チエ子)

# 共済募集人の研修

組合の初代顧問 賀川豊彦氏について  
学びました。

●場所：賀川記念館

(神戸市中央区吾妻通5丁目2-20)

●日時：令和7年9月16日

●講師：田中 重至氏



当日の資料より抜粋

労働組合の母 協同組合の父 共済の創設者

## 賀川豊彦

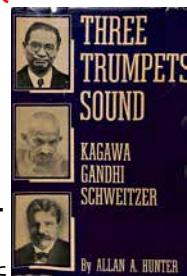
—思想と実践—

2025年9月16日  
社会福祉法人イエス団  
賀川記念館  
田中重至

1922(大正11)年	神戸復活共済組合を設立
1923(大正12)年	東京復活共済組合を設立
1935(昭和10)年	米を回り各國の保険制度を視察し、「保険制度の協同化を主張する」という論文を発表
1938(昭和13)年	N・バー著の『協同組合保険論』を翻訳して刊行
1940(昭和15)年	「日本協同組合保険論」を執筆刊行
1942(昭和17)年	共栄火災を創立(大東及び大福海上火災保険の合併)
1947(昭和22)年	農業協同組合法成立
1948(昭和23)年	消費生活協同組合法成立
1951(昭和26)年	全国共済農協連の認可
1954(昭和29)年	大阪で労働者共済誕生
1955(昭和30)年	新潟で労働者共済誕生
1956(昭和31)年	富山、長野、北海道、群馬、福島
1957(昭和32)年	労済連創立→1976年 全労済に改称

20世紀の三聖人

カガワ

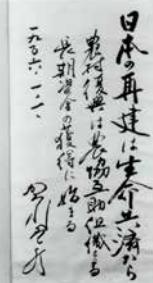
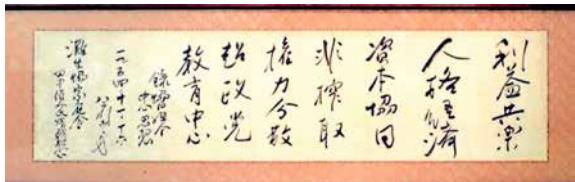


ガンジー

シュバイツァー

1939年、アメリカで出版された

1954(昭和29)年 11月16日  
協同組合中心思想



日本の再建は生命共済から

農村復興は農協互助組織による  
長期資金の獲得に始まる

1956.1.1 賀川豊彦



賀川氏は昭和30年に、尼崎市の最高顧問に就任されています。  
また、当組合の顧問となり多くの助言をいただきました。

1888(明治21)年7月10日神戸で誕生  
1960(昭和35)年4月23日召天

社会福祉法人イエス団  
**賀川記念館**



講義の様子です。



共済募集人の全員が受講しました。



研修の後に「神戸酒心館」で懇親会を行いました。



# 組合に寄せられたお客様の声

ペンネーム とるじい様

## 交通等傷害共済

年齢も65歳を超えると身体的にリスクも上がるるので掛金もすごくリーズナブルで保障内容に安心感が有り助かります。



年齢も65歳を超えると  
身体的にリスクも上がるのと  
掛金もすごくリーズナブルで  
保障内容に安心感が有り  
助かります。

R7.6.17



武村 郁子様

## 火災共済 交通等傷害共済

昨年末、自転車でころび、顔と足等をけがしました。交通傷害保険はずっと前から入っていましたが、今回のような事故にあうと入っていて良かったとつくづく思います。メガネがこわれて買い換えるければならなかつたので、共済金はありがたかったです。

昨年末 自転車でころび 顔と足等をけが  
しました。 交通傷害保険はずっと前から入って  
いましたが 今回のような事故にあうと入っていて良か  
ったとつくづく思います。 メガネがこわれて買い換え  
なければならなかつたので、共済金はありがたかったです。

R7.2.7

ペンネーム けんしん様

## コープ共済

今回、契約する時にホームページで契約していたが、やり方がいまいちわからなくて協同組合の登録だけしていたらわざわざ電話で保険の登録方法を教えていただき、契約書を送る手続きをしていただき、安心して契約する事ができました。

ありがとうございました。



今回、契約する時にホームページで契約して  
いたが、やり方がいまいちわからなくて協同組  
合の登録だけしていただきわざわざ電話で保険の  
登録方法を教えていただき、契約書を送る手続きをし  
ていただき、安心して契約する事ができました。  
ありがとうございました。

R6.7.29

ペンネーム fuku5217様

## 火災共済 交通等傷害共済あんしんセット

これから自転車に乗る事が増えると思います。妹共々お世話になってありがとうございます。加害者、被害者でも安心しております。より一層注意しながら走ります。お電話しても親切、丁寧でうれしかった!



これから自転車に乗る事が増えると  
思います。妹共々お世話になります。  
加害者、被害者でも  
安心してあります。より一層注意しながら  
走ります。お電話しても親切、丁寧でうれしかった

R6.12.4

ペンネーム H・T 様

## 火災共済

契約者の父が他界し、更新手続の件で窓口に連絡したところ、迅速に対応して頂き、保障内容も現在の住まいに合ったものを提案してくださいました。担当の方の人柄と分かりやすい的確な説明で安心して加入することができました。ありがとうございました。



契約者の父が他界し、更新手続の件で窓口に連絡したところ、迅速に対応して頂き、保障内容も現在の住まいに合ったものを提案してくださいました。担当の方の人柄と分かりやすい的確な説明で安心して加入することができました。  
ありがとうございました。

R6.8.6

お名前 匿名

## 火災共済

営利を目的としない市民共済の利用分量割戻しは毎年の楽しみである。また、取扱者のテキパキ気持ちの良い対応にいつも安心して契約更新させて頂いております。感謝



営利を目的としない市民共済の利用分量割戻しは毎年の楽しみである。また、取扱者のテキパキ気持ちの良い対応にいつも安心して契約更新させて頂いておりました。感謝

R6.8.2

家弓 傳一郎様

## 火災共済

尼崎市民共済なので安心出来ますので、又、集金に来て下さいますので便利です。宜しくお願ひ致します。



尼崎市民共済は安心出来るので、又、集金に来て下さいますので、便利です。  
宜しくお願ひ致します

R6.7.29

ペンネーム M・K 様

## 火災共済

亡くなった母の家の火災共済をスタッフの方に相談の上引継ぐ形で契約する事になりました。電話での対応でていねいにお話を聞いて頂き亡母の諸事でつかれていた時だったのでありがとうございました。市民共済のイメージが変わりました。これからも宜しくお願ひします。



亡くなった母の家の火災共済をスタッフの方に相談の上引継ぐ形で契約する事になりました。電話での対応でていねいにお話を聞いて頂き亡母の諸事でつかれていた時だったのでありがとうございました。市民共済のイメージが変わりました。これからも宜しくお願ひします。

R6.8.9



## 資 料

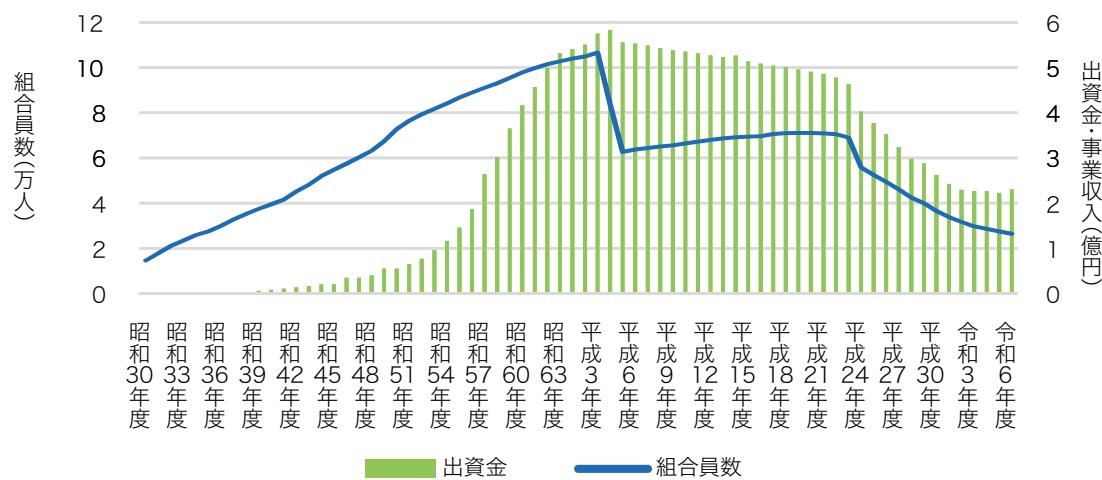


# 70<sup>th</sup> Anniversary

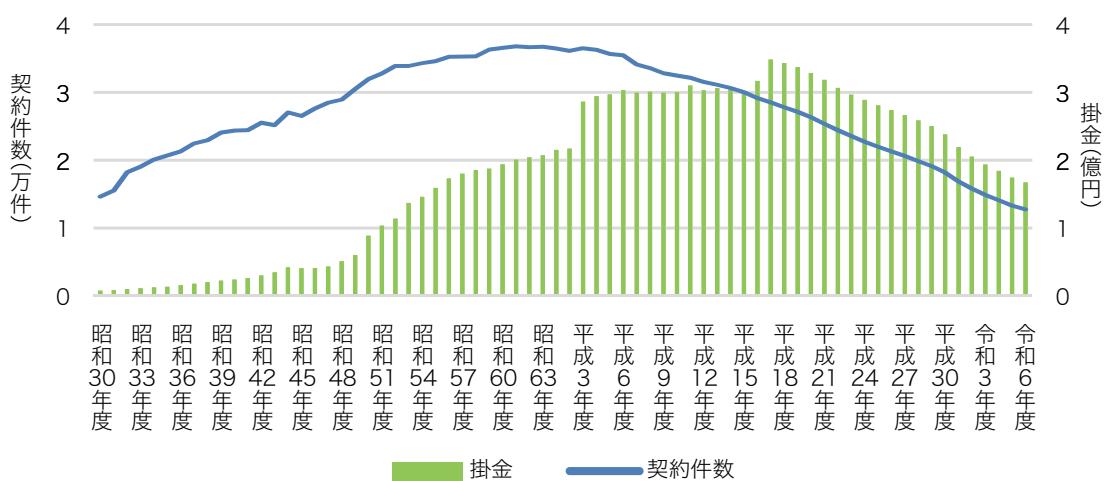


# グラフで見る70年

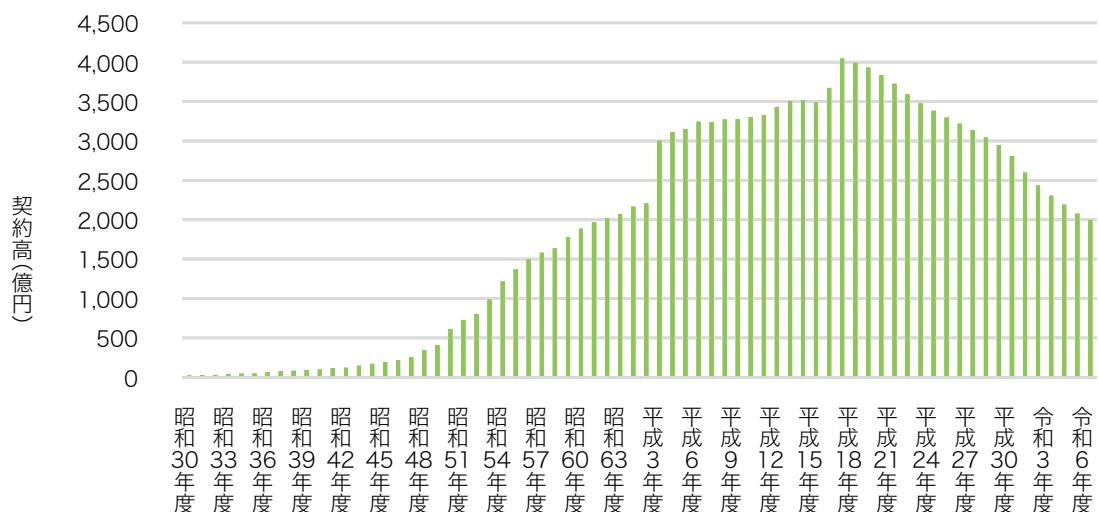
## 1. 組合員・出資金の推移



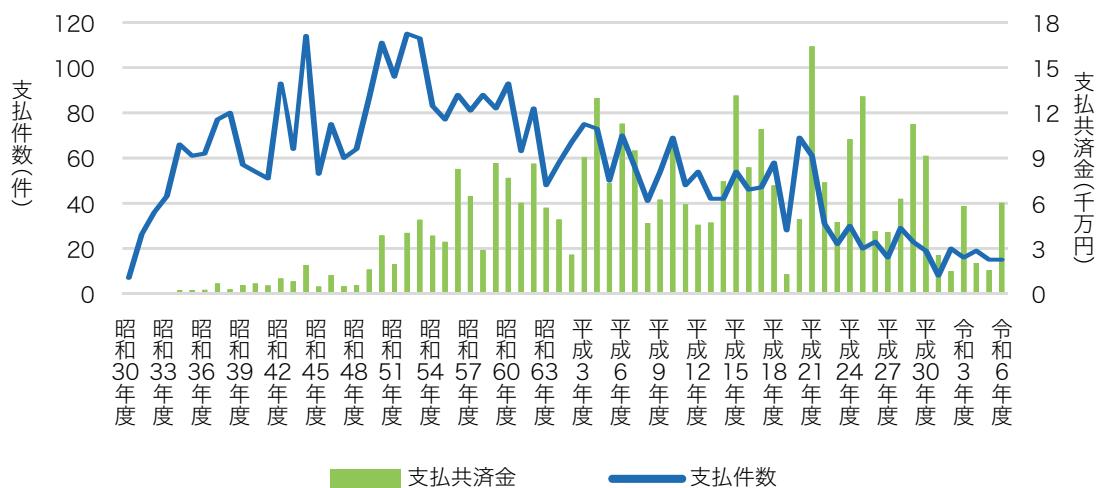
## 2-1. 火災共済加入状況の推移



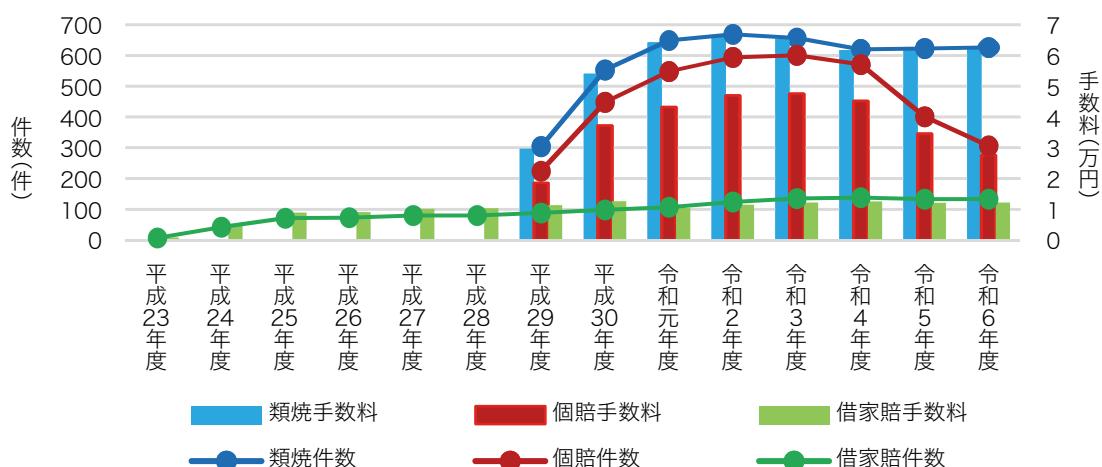
## 2-2. 火災共済契約高の推移



## 2-3. 火災共済金支払状況の推移



## 2-4. 火災共済付帯保険加入状況の推移

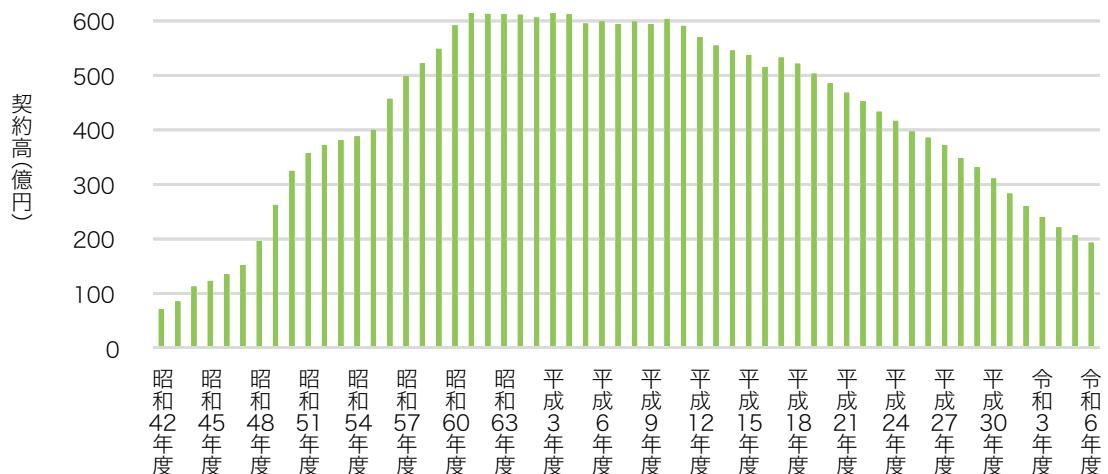


## 3-1. 交通等傷害共済加入状況の推移

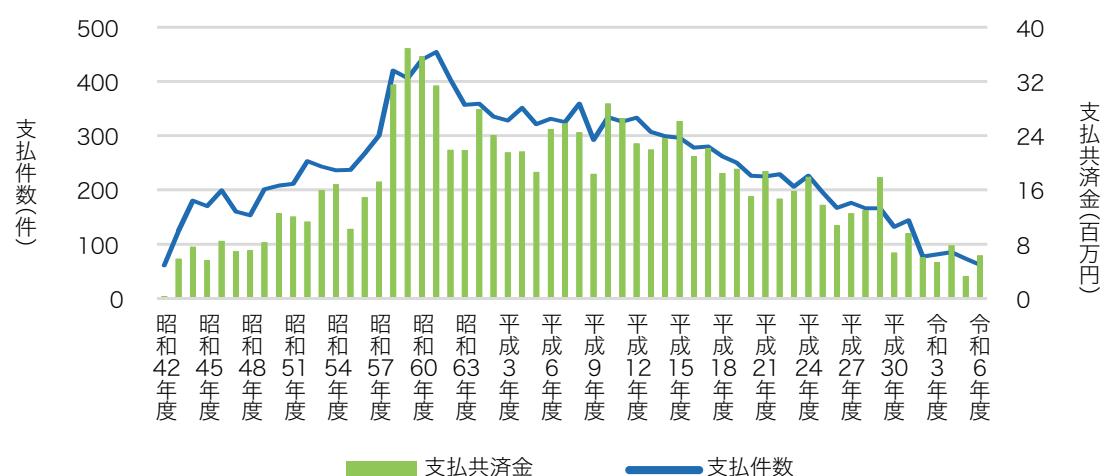


# グラフで見る70年

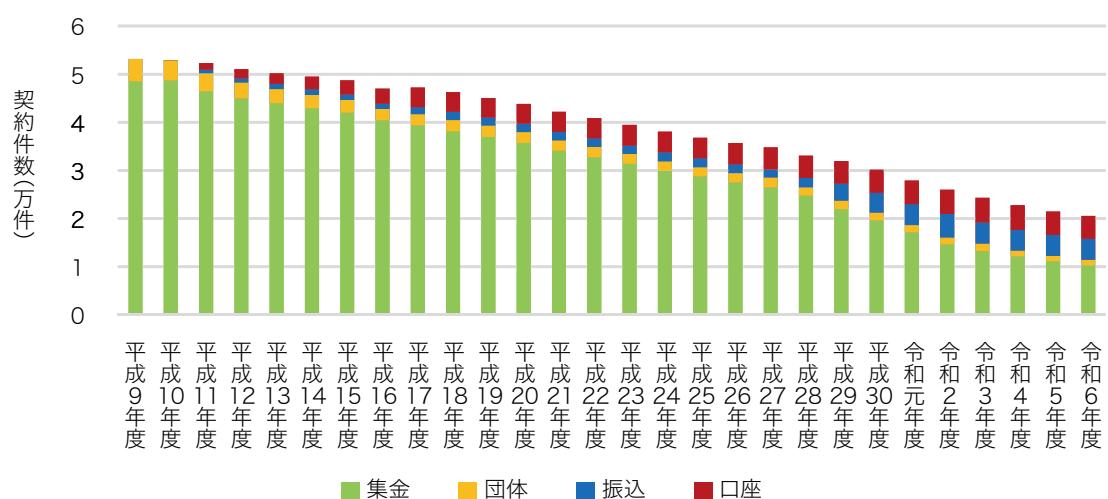
## 3-2. 交通等傷害共済契約高の推移



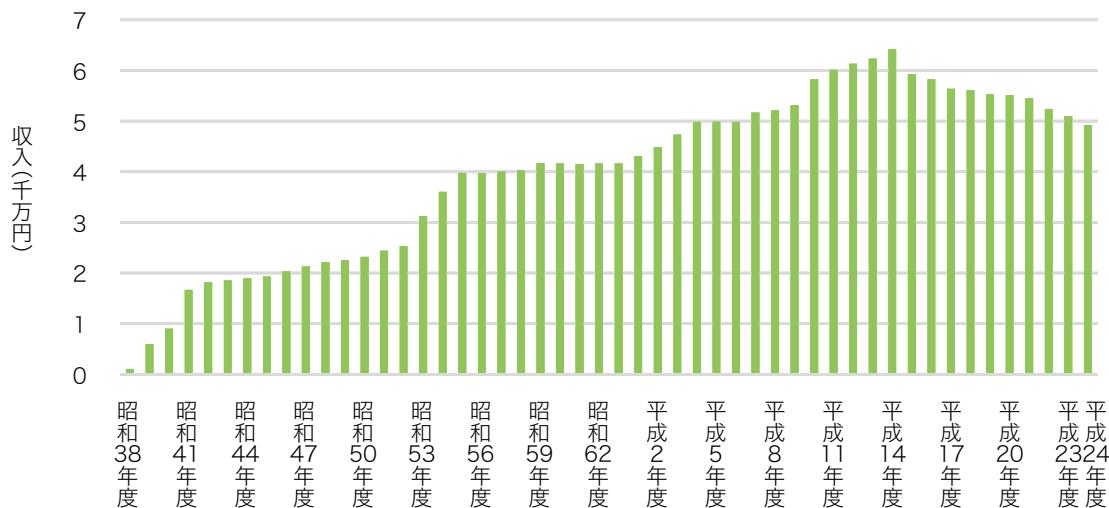
## 3-3. 交通等傷害共済金支払状況の推移



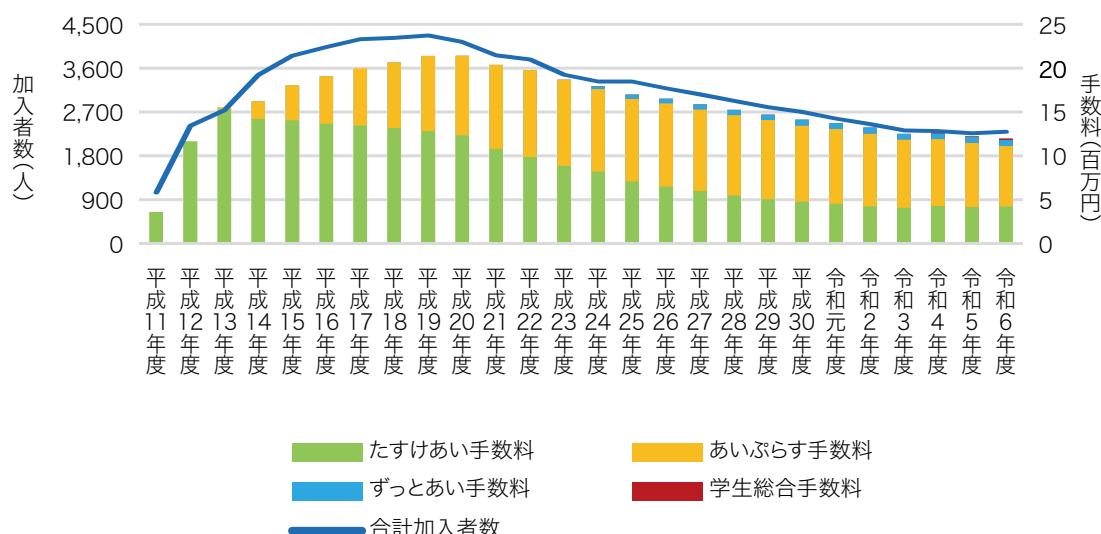
## 4. 掛金払込方法(火災共済・交通等傷害共済)の推移



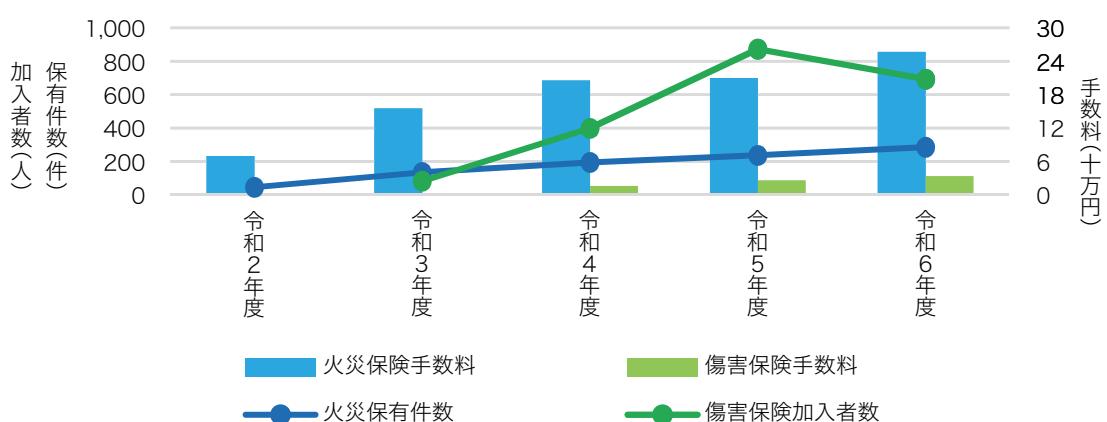
## 5. 住宅(富松団地)収入の推移



## 6. 生命共済加入状況の推移



## 7. 保険代理(個人用火災総合保険・交通事故傷害保険)加入状況の推移



# 組合事業変遷一覧表

組合員数、元受共済事業等の変遷一覧表

年度	組合員		火災共済事業					交通等傷害共済事業					住宅事業		参考(尼崎市)	
	人数 (人)	出資金 (円)	契約件数 (件)	受入共済 掛金 (円)	契約高 (万円)	支払 件数 (件)	支払 共済金 (円)	被共済者 (人)	受入共済 掛金 (円)	契約高 (万円)	支払 件数 (件)	支払 共済金 (円)	収入 (円)	人口 (人)	世帯数	
昭和30年	14,634	756,650	14,633	7,475,515	228,095	7	253,950							337,504	77,766	
昭和31年	17,797	915,700	15,515	8,146,922	247,955	26	433,160							348,471	80,526	
昭和32年	21,044	1,078,900	18,204	9,714,053	298,135	36	1,069,480							365,765	84,987	
昭和33年	23,462	1,201,450	19,037	10,987,779	399,690	43	724,850							378,156	88,522	
昭和34年	25,829	1,321,800	20,093	12,255,890	463,135	66	2,400,900							388,727	91,667	
昭和35年	27,510	1,406,400	20,692	13,153,847	487,670	61	2,377,200							410,215	103,243	
昭和36年	29,941	1,529,650	21,294	15,679,074	644,175	62	2,476,900							432,658	111,092	
昭和37年	32,685	1,667,300	22,464	17,739,237	766,220	77	6,633,700							455,322	120,409	
昭和38年	35,211	1,796,250	22,935	19,867,304	817,770	80	2,760,600						1,019,333	475,415	129,460	
昭和39年	37,438	5,791,650	24,085	22,150,780	911,200	57	5,649,000						5,974,592	492,435	136,983	
昭和40年	39,517	8,250,050	24,366	23,865,770	977,880	54	6,624,600						8,971,151	504,318	137,669	
昭和41年	41,485	10,679,750	24,414	26,297,374	1,176,940	51	5,372,500						16,675,953	515,723	142,786	
昭和42年	45,184	13,601,650	25,524	30,002,698	1,215,770	93	10,067,500	14,193	8,674,800	709,650	61	290,500	18,137,190	529,914	147,935	
昭和43年	48,173	16,658,900	25,175	34,575,140	1,442,940	64	8,193,500	17,087	8,595,000	854,350	125	5,830,000	18,534,381	539,774	170,298	
昭和44年	51,907	20,415,900	27,030	42,051,192	1,700,840	114	18,956,500	22,513	11,351,400	1,125,650	180	7,610,000	19,005,787	547,585	176,362	
昭和45年	54,695	20,474,450	26,501	40,560,855	1,931,420	53	4,653,800	24,576	12,387,700	1,228,800	170	5,645,000	19,292,429	553,241	161,550	
昭和46年	57,426	34,702,000	27,621	40,812,852	2,155,970	75	12,227,000	26,991	13,564,300	1,349,550	199	8,475,000	20,342,226	552,008	162,039	
昭和47年	60,257	34,661,700	28,492	43,271,584	2,571,400	60	4,905,500	30,395	15,279,700	1,519,750	160	6,919,900	21,276,003	550,179	161,737	
昭和48年	63,173	40,088,550	28,924	50,817,066	3,424,370	64	5,651,000	32,658	19,718,100	1,962,500	153	7,089,800	22,131,322	548,767	162,490	
昭和49年	67,363	55,049,500	30,491	59,812,393	4,083,960	87	15,994,000	38,458	26,339,465	2,623,950	201	8,249,240	22,481,842	548,090	164,069	
昭和50年	72,765	55,130,900	31,953	88,464,132	6,132,610	111	38,535,500	44,611	32,554,969	3,248,000	208	12,558,100	23,164,918	545,535	170,894	
昭和51年	76,486	64,697,900	32,810	103,262,676	7,264,180	96	19,585,000	47,273	35,603,467	3,571,100	211	12,032,000	24,369,829	544,497	171,151	
昭和52年	79,301	76,741,900	33,883	113,544,251	8,034,020	115	40,267,000	48,977	37,489,275	3,721,750	253	11,290,500	25,274,752	540,073	170,433	
昭和53年	81,673	95,569,150	33,877	136,964,670	9,886,000	113	48,930,500	49,625	38,335,925	3,811,050	243	15,972,500	31,235,196	534,900	169,490	
昭和54年	84,086	116,635,550	34,299	146,037,251	12,138,150	83	38,386,500	49,638	39,018,100	3,879,750	236	16,813,040	36,031,103	530,198	168,871	
昭和55年	86,744	145,971,900	34,607	159,066,839	13,706,780	77	34,409,000	50,416	40,288,192	3,999,450	237	12,040,700	39,766,692	523,038	177,825	
昭和56年	88,930	187,075,350	35,241	172,914,965	15,003,570	88	82,790,267	51,667	45,734,725	4,571,200	267	14,897,330	39,696,684	518,626	177,450	
昭和57年	91,041	263,920,750	35,261	180,082,341	15,807,570	81	64,576,683	51,388	49,789,350	4,990,800	300	17,185,240	40,077,653	516,354	178,078	
昭和58年	92,974	301,922,250	35,313	185,352,965	16,374,810	88	29,033,235	51,483	52,132,375	5,222,800	420	31,523,800	40,266,935	514,785	179,196	
昭和59年	95,399	365,033,700	36,319	187,384,023	17,771,690	82	86,616,695	52,006	54,806,000	5,484,400	406	36,866,250	41,677,799	511,544	180,294	
昭和60年	97,790	416,322,800	36,556	193,988,158	18,849,240	93	76,806,553	53,494	57,635,950	5,914,600	440	35,694,820	41,609,907	509,405	178,327	
昭和61年	99,706	456,858,550	36,795	200,943,901	19,657,280	63	60,303,010	53,431	58,921,600	6,142,800	454	31,353,500	41,443,354	507,753	179,026	
昭和62年	101,431	499,619,700	36,664	204,090,496	20,189,090	82	86,214,887	52,358	58,599,800	6,124,500	403	21,896,900	41,601,076	504,879	179,840	
昭和63年	102,776	531,683,850	36,715	207,148,352	20,694,080	48	56,980,604	51,612	58,583,050	6,123,000	357	21,864,000	41,601,076	502,727	180,972	
平成元年	103,872	540,937,800	36,456	215,099,145	21,663,330	58	49,195,150	50,797	58,381,200	6,110,150	359	27,878,600	43,037,393	500,848	182,557	
平成2年	104,844	550,663,450	36,099	217,089,479	22,071,200	67	25,769,930	49,631	57,779,875	6,060,250	335	24,092,500	44,848,972	499,068	186,228	
平成3年	106,626	575,400,600	36,485	286,339,264	30,064,790	75	90,567,173	49,686	58,376,850	6,137,350	328	21,511,500	47,303,902	497,930	188,515	
平成4年	83,992	582,834,200	36,261	294,457,808	31,122,170	73	129,846,218	48,964	58,122,275	6,117,350	351	21,627,700	49,836,288	497,283	190,688	
平成5年	62,612	555,278,700	35,669	296,961,435	31,491,510	50	73,234,664	47,057	56,723,800	5,950,500	321	18,641,500	49,941,277	495,894	192,499	
平成6年	63,709	552,961,450	35,470	303,378,805	32,433,740	70	112,744,205	46,373	57,125,069	5,993,600	331	24,949,800	49,867,449	492,793	193,337	
平成7年	64,411	548,522,150	34,119	299,632,687	32,371,020	56	94,862,469	44,927	56,753,531	5,944,250	325	25,824,660	51,666,264	487,665	191,242	
平成8年	65,067	542,698,300	33,554	301,171,980	32,718,360	41	46,760,323	44,290	57,344,590	5,990,950	359	24,467,140	52,112,735	484,724	192,456	
平成9年	65,559	537,976,750	32,814	299,914,415	32,763,920	54	62,309,516	43,241	56,935,150	5,939,600	292	18,346,980	53,078,342	480,382	193,246	
平成10年	66,446	535,176,000	32,480	300,547,809	33,022,240	69	99,668,510	42,792	57,854,150	6,035,550	334	28,735,200	58,215,453	478,000	194,739	
平成11年	67,210	531,329,900	32,161	310,209,090	33,304,290	48	59,211,175	41,369	56,828,216	5,905,750	326	26,584,200	60,099,242	466,187	195,479	
平成12年	67,957	527,055,500	31,554	302,947,770	34,285,200	54	45,598,304	39,302	54,890,569	5,700,800	333	22,829,080	61,338,930	465,135	190,577	
平成13年	68,624	523,038,850	31,136	306,154,490	35,070,900	42	47,043,389	37,855	53,520,553	5,544,750	307	21,944,840	62,303,665	464,286	192,140	
平成14年	69,076	526,602,900	30,636	305,408,500	35,169,140	42	74,531,112	36,832	52,763,726	5,452,350	299	23,622,040	64,162,340	463,544	193,821	
平成15年	69,419	513,192,950	30,033	302,182,213	34,890,570	54	131,460,241	35,978	52,027,020	5,371,850	296	26,143,400	59,250,442	462,849	195,603	
平成16年	69,601	508,719,800	29,163	316,833,842	36,731,500	46	83,753,693	34,122	49,955,054	5,154,050	278	20,961,000	58,228,843	461,713	197,181	
平成17年	70,537	504,168,500	28,525	348,304,671	40,453,240	47	109,063,422	35,551	51,754,901	5,327,000	280	22,199,000	56,345,689	461,903	200,977	
平成18年	70,981	500,794,200	27,800	343,252,032	39,955,540	58	71,694,410	34,436	50,751,941	5,214,700	262	18,476,280	56,064,988	462,200	201,522	
平成19年	71,059	495,637,650	27,116	337,151,966	39,321,120	28	12,826,984	32,992	48,990,402	5,030,350						

受託共済事業変遷一覧表

年度	生命共済(コーポ共済)									
	たすけあい		あいぶらす		ずっとあい		学生総合保険		合計	
	加入者数 (人)	受入受託手数料 (円)								
平成11年	1,045	3,593,970							1,045	3,593,970
平成12年	2,414	11,645,784							2,414	11,645,784
平成13年	2,628	15,235,135	103	254,164					2,731	15,489,299
平成14年	3,087	14,198,215	370	2,002,872					3,457	16,201,087
平成15年	3,248	14,055,936	605	3,959,877					3,853	18,015,813
平成16年	3,249	13,644,970	780	5,428,717					4,029	19,073,687
平成17年	3,232	13,440,238	962	6,528,578					4,194	19,968,816
平成18年	3,122	13,141,991	1,095	7,513,295					4,217	20,655,286
平成19年	3,057	12,818,879	1,209	8,566,140					4,266	21,385,019
平成20年	2,875	12,320,592	1,259	9,097,597					4,134	21,418,189
平成21年	2,648	10,775,792	1,212	9,578,670					3,860	20,354,462
平成22年	2,554	9,869,816	1,222	9,903,264					3,776	19,773,080
平成23年	2,261	8,852,816	1,183	9,787,455	19	14,320			3,463	18,654,591
平成24年	2,104	8,198,763	1,140	9,415,237	77	325,353			3,321	17,939,353
平成25年	1,963	7,116,267	1,245	9,402,956	116	454,099			3,324	16,973,322
平成26年	1,815	6,486,628	1,237	9,506,912	132	514,872			3,184	16,508,412
平成27年	1,712	5,995,317	1,208	9,291,482	139	587,517			3,059	15,874,316
平成28年	1,609	5,467,693	1,171	9,185,269	144	599,112			2,924	15,252,074
平成29年	1,524	5,067,454	1,121	9,009,058	152	613,740			2,797	14,690,252
平成30年	1,453	4,774,308	1,082	8,670,007	164	666,914			2,699	14,111,229
令和元年	1,359	4,526,696	1,044	8,534,216	161	665,117			2,564	13,726,029
令和2年	1,302	4,251,968	983	8,286,788	163	676,965			2,448	13,215,721
令和3年	1,249	4,078,706	910	7,769,137	159	666,121			2,318	12,513,964
令和4年	1,276	4,271,824	857	7,626,576	157	666,404	17	36,614	2,307	12,601,418
令和5年	1,285	4,182,036	789	7,311,224	161	682,139	28	62,835	2,263	12,238,234
令和6年	1,304	4,215,500	756	6,900,885	162	687,051	73	155,101	2,295	11,958,537

火災共済付帯保険変遷一覧表

年度	借家人賠償責任保険		類焼損害費用保険		個人賠償責任保険		合計	
	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)	取扱件数 (件)	受入受託手数料 (円)
平成23年	7	844					7	844
平成24年	42	4,971					42	4,971
平成25年	71	8,929					71	8,929
平成26年	73	9,111					73	9,111
平成27年	80	10,175					80	10,175
平成28年	80	10,370					80	10,370
平成29年	88	11,345	304	29,717	224	18,556	616	59,618
平成30年	98	12,642	553	54,050	448	37,175	1,099	103,867
令和元年	107	10,409	649	64,279	548	43,238	1,304	117,926
令和2年	124	11,488	669	66,601	594	46,982	1,387	125,071
令和3年	135	12,208	657	65,410	601	47,583	1,393	125,201
令和4年	138	12,579	620	61,723	571	45,201	1,329	119,503
令和5年	133	12,121	623	62,022	401	34,547	1,157	108,690
令和6年	133	12,189	626	62,322	306	27,630	1,065	102,141

保険代理事業変遷一覧表

年度	個人用火災総合保険		交通事故傷害保険		合計	
	保有件数 (件)	受入保険代理手数料 (円)	加入者数 (人)	受入保険代理手数料 (円)	加入者数 (人)	受入保険代理手数料 (円)
令和2年	46	698,183			46	698,183
令和3年	135	1,552,117	83	31,325	218	1,583,442
令和4年	195	2,056,129	399	163,867	594	2,219,996
令和5年	237	2,097,922	873	264,254	1,110	2,362,176
令和6年	286	2,568,184	693	338,695	979	2,906,879

※交通事故傷害保険の加入件数は、保有人員を示しています。

掛金払込方法(火災共済・交通等傷害共済)

変遷一覧表

年度	取扱件数(件)			
	集金	団体	振込	口座振替
昭和30年				
平成8年	この期間の払込方法は集金と団体のみでした			
平成9年	48,493	4,640	-	-
平成10年	48,662	4,238	-	25
平成11年	46,409	3,754	784	1,354
平成12年	44,945	3,331	831	1,894
平成13年	43,960	2,923	1,085	2,238
平成14年	42,887	2,783	1,165	2,635
平成15年	41,944	2,690	1,130	2,938
平成16年	40,411	2,357	1,087	3,132
平成17年	39,304	2,358	1,468	4,103
平成18年	38,080	2,372	1,729	4,059
平成19年	36,918	2,386	1,687	4,057
平成20年	35,690	2,267	1,732	4,114
平成21年	34,073	2,189	1,734	4,177
平成22年	32,698	2,199	1,737	4,232
平成23年	31,340	2,101	1,728	4,293
平成24年	29,917	1,978	1,861	4,284
平成25年	28,692	1,985	1,844	4,263
平成26年	27,472	1,950	1,808	4,452
平成27年	26,452	2,068	1,638	4,608
平成28年	24,721	1,751	1,990	4,586
平成29年	21,951	1,784	3,535	4,646
平成30年	19,592	1,616	4,127	4,837
令和元年	17,070	1,554	4,382	4,883
令和2年	14,614	1,465	4,897	5,011
令和3年	13,240	1,549	4,406	5,126
令和4年	12,094	1,233	4,319	5,138
令和5年	11,097	1,135	4,364	4,880
令和6年	10,302	1,137	4,342	4,760

※集金…契約者の自宅に外務員・取次所(現 共済募集人)などが訪問し掛金を支払う方法

※団体…町会・労働組合・消防団などの団体を通じて掛金を支払う方法

※振込…郵便局またはコンビニエンスストアで掛金を支払う方法

## 編集後記

### ～創立70周年記念誌編纂に見えた先人のパワー～

この「創立70周年記念誌」は、当組合におきまして初めての記念誌発行となります。

令和7年6月6日に開催しました創立70周年記念式典が大盛況となった余韻の中、8人の全職員が各分野を受け持ち、記念誌の編纂に取り組みました。編纂にあたり倉庫奥を探っておりますと、古いポスターやチラシ類が見つかりレトロなデザインや今では規制される表現が懐かしく心が浮きました。

私はこの組合に従事して36年目となります。この間、広告物の作成に何気なく使用していた『ひとりの災害、みんなで共済』という標語は、創立10周年記念に募集した標語コンクールの市長賞であったことが分かりました。長らく使い続けられているこの標語は、「相互扶助」を親しみやすく表現し、組合員の心を掴んだのだと思います。

さて、当組合は、設立時から昭和53年までは尼崎市から派遣された職員や臨時職員により業務が行われ、昭和54年に組合固有職員の採用が始まりました。平成21年3月から順次、諸先輩方4名が定年を迎えられ退職されました。この組合の設立経緯や諸先輩方がどのようにして事業を広められたのかをこの機会にお聴きしたかったのですが、連絡が取れなかつた方や体調が優れない方もあり残念ながらそれは叶いませんでした。

そんな中、私の知らない組合の貴重な写真や資料が尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズで次々に見つかり、その都度、諸先輩方の業績に驚きと感服の連続でした。

組合員がお金出し合い、災害などの被害に遭い困った時に共済金を受け取ることで生活の安定を図ろうとする仕組み作りに奮起し、いざ組合の設立に出資を募り、前例のない方法で組合加入を呼びかけ、そして事業開始後も新しい制度を取り入れながら組合員を増やし続けたパワーはすばらしいものでした。これらの掘り起こされた組合の歴史たる先人の数々の功績を大変光栄に思い、この記念誌に収めることができました。私達は、組合員に対する最大の奉仕を念頭に置き、諸先輩方の思いを受け継ぎながら未来に向けこの事業を進めてまいります。そして、この記念誌が後世の組織の発展の一助となれば幸いです。

最後になりますが、ご多忙の中、ご祝辞や記事をお寄せいただきました皆様、貴重なお写真や資料を提供いただきました皆様、そしてたくさんの助言をいただきました出版樹々の皆様をはじめ関係各位に心より御礼申し上げます。

令和7年12月 尼崎市民共済生活協同組合  
理事兼事務局長 中村 由起子



## 職員



令和7年11月6日 撮影

後ろ左から 高瀬 一嘉 赤川 潤一 宮崎 恵 浅野 重子  
前左から 中畑 貴喜 中村 由起子 内間 崇平 神例 裕子



平成8年10月6日 尼崎市民共済親睦会 明治村への親睦旅行

### 定年による退職者

- |              |              |          |
|--------------|--------------|----------|
| ・松川 優子（主任）   | 平成21年3月31日定年 | 後列中央     |
| ・小西 博美（主任）   | 平成22年3月31日定年 | 前例左から2人目 |
| ・上田 広且（常務理事） | 令和2年3月31日定年  | 前列右から3人目 |
| ・福崎 幸代（次長）   | 令和2年3月31日定年  | 前列右から2人目 |

## エピソード

昭和37年12月、尼崎市役所内に構えていた事務所において、この金庫を迎入れました。

昭和45年5月には尼崎市消防署に移転し、昭和57年12月に現在の事務所に落ち着きました。

平成7年1月、あの朝、事務所の書庫が全部倒れ書類が散乱し、呆然と立ち尽くす私達職員を、金庫は微動だにせず、「さあ、片付けよう。」と語っていたように思いました。

共済契約が舞い込んで来ていた時期も組合員の獲得に四苦八苦する現在も、金庫はドーンと腰を据え、「大切な物の保管はまかせろ」と組合を見守り続けています。

(昭和37年12月28日 イトーキ製 購入金額5万円)



創立70周年記念誌作成委員

中村 由起子(右)

宮崎 恵(左)

## 尼崎市民共済生活協同組合 創立70周年記念誌

発行日 令和7年12月20日

資料提供 尼崎市立歴史博物館あまがさきアーカイブズ

発 行 尼崎市民共済生活協同組合

尼崎市消防局企画管理課

〒660-0881

制 作 出版樹々／寿印刷株式会社

尼崎市昭和通2丁目6番68号

〒555-0021

尼崎市中小企業センター7階

大阪市西淀川区歌島1丁目4番4号

TEL 06-6481-0005

TEL 06-6471-3434

編 集 創立70周年記念誌作成委員

中村 由起子 宮崎 恵



尼崎市民共済

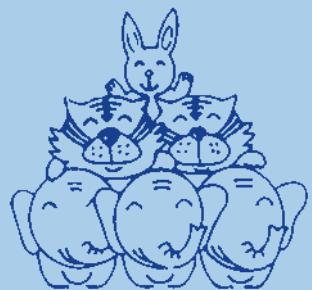


尼崎市立歴史博物館



出版樹々





Since 1955